

- ・ SGO 自体をそれまでやった事がなかったの。
- ・ WS に参加するまで、セルフメディケーションという言葉自体知らなかったのでも意義だった。
- ・ いかに全員を参加させるか。
- ・ いろいろな考えをまとめる時
- ・ グループディスカッションの進め方が分かった
- ・ グループディスカッションで、他施設の薬剤師の考え方、日常業務の情報交換が出来たこと。
- ・ グループの中には色々立場の違う方もいて、考え方に違いがありことを発見できた
- ・ グループの方の貴重なお話を聞くことができ、実習のみならず、普段の業務にも大変有意義でした。
- ・ コミュニケーションが多くなった
- ・ コミュニケーションの活発化
- ・ コミュニケーションの重要性、学生がどの様に理解し感じているのかの確認に役立ちました
- ・ コミュニケーションの図り方
- ・ コミュニケーション力がついた。
- ・ スケジュール・学習方略の作成
- ・ スモールグループディスカッションでの参加時の心構
- ・ スモールグループディスカッションにて各施設によって考え方が異なっていることが認識された
- ・ スモールグループディスカッションの活用方法について理解が深まった
- ・ タスクとして
- ・ ディスカッションしやすい人数でグルーピングすることで、意見交換しやすくなるのがよく理解できた。
- ・ プロダクトを作成することは問題点を共有するうえでも有意義と感じた
- ・ ヘルシンキ宣言など色々な知識を知る
- ・ みんなで意見を出し合った方がより良い考えが出てくるという点
- ・ みんなの意見を細かく聞く
- ・ リーダーシップ
- ・ レベルの確認。
- ・ ワークショップ終了後もメンバーで交流会などし病院薬剤師や他地域の情報収集などで役立った
- ・ 意見を出し合い、まとめていく過程
- ・ 意見を出し合うことで解決できることがふえた。
- ・ 意見を出し合う積極的な姿勢
- ・ 意見を出し合って考えることの大切さを知りました。
- ・ 意見を述べる、まとめること
- ・ 意見交換やコミュニケーションをとることの重要性がわかった
- ・ 違う考え方の意見を確認し、互いに認めることでさらに新しい考えが発生する面白さを感じた。
- ・ 一人では気付けない事を学べた
- ・ 一人で解決しないで、他と協調する方法がわかった。
- ・ 一人ひとりの意見を尊重する。
- ・ 何のためにやっているのか？行っているときは良くわからなかった。
- ・ 課題への取り組み、解決心(力)、目標達成への集中、責任感
- ・ 会議や研修で、積極的に討議に関われるようになった。
- ・ 各テーマにおいて、どのような手法でおこなったらよいかなど、意見を出し合って選択することができる。
- ・ 学校薬剤師としての教室の空気・照度・温度検査
- ・ 学生とのコミュニケーション 職場での問題解決 薬剤師会での会議。
- ・ 学生との会話
- ・ 学生との会話の中での方向性を思い出せた。
- ・ 学生と集合研修をしてSGDをとり入れた
- ・ 学生と討論する際に役に立った。
- ・ 学生と話をする時にとても役に立ちました。また、学生も経験していることが重要かと思えます。
- ・ 学生にもおしえてあげる事ができる
- ・ 学生の弱点をしっかりと認識して補充した
- ・ 活用する場面が増える毎にSGDに慣れ、構成メンバーの意見が反映されやすくなり物事が進めやすくなる。
- ・ 管理者研修において意見を出しあう中でその方法を活用できた。
- ・ 教えることが自分自身の毎日考えさせられることを実感できた。
- ・ 業務上の問題点の抽出
- ・ 決まった時間でグループとしての考えを纏めるための手腕、方法
- ・ 研修会でスモールグループディスカッションを行った
- ・ 研修会に役立てた
- ・ 研修会のイメージを打開した
- ・ 研修会を行う上で 役に
- ・ 研修会を小規模で行った
- ・ 個々の意見の尊重
- ・ 個人で考えるよりはるかに成果がでるということ。
- ・ 個人の意見が出やすい。
- ・ 考え方の違いが理解できた
- ・ 今までのスタンスと違っていたので興味深かった
- ・ 座学で課題を与え、討議した。
- ・ 参加型実習を行うことができたと思う。
- ・ 参加型実習を行うことができたと思う。
- ・ 思考の進め方
- ・ 施設内での SGD の機会を増やし、より連携強化につながった。
- ・ 時間をかけて話し合うことで重要な点が見えてきたこと。
- ・ 時間配分について
- ・ 自己の意見は必然的に要求されるので傍観的ではいられない点
- ・ 自身で体験することによりSGDの有効性を理解し、大学教育に対する理解が深まった
- ・ 自店のミーティングにも取り入れたら普段発言しないスタッフもどんどん意見を言うようになってきた。
- ・ 自分だけでは考えつかない意見が出るので SGD は問題点を考えるときに助かる。
- ・ 自分で考えて答えを出して行く事の重要性を再確認し今後に生かしたい。
- ・ 自分で考えることのトレーニングになっている
- ・ 自分なりに問題点を見つけ、改善した
- ・ 自分の意見とほかの人の意見の相違点を客観的に考えられるようになったと思う。
- ・ 自分の意見を積極的に伝えることの大切さを知った。
- ・ 自分の意見を積極的に伝えることの大切さを知った。
- ・ 自分の考えがまとめられた
- ・ 自分の考えが統一していないと、まとまらない。
- ・ 実際にディスカッションすることが増えた。
- ・ 実習で活用した
- ・ 実習を進めるにあたる計画作成
- ・ 実習開始にあたり、不安なことがたくさんありました。いろいろな立場の方と実際に話をして、随分気持ちは楽になりました。その後も SGD で知り合えた方と学生実習の間に情報交換もでき、大変助かったと思います。
- ・ 実習業務の担当分けなど。
- ・ 実習生の考えやイメージなどの把握
- ・ 実習生や他のスタッフとの意見を取り入れることができた点。
- ・ 実習内でも SGD を取り入れることで、活発な意見交換が出来た。
- ・ 実務実習の全体研修。
- ・ 実務実習全般
- ・ 社員研修の手法として
- ・ 社内 CBL 研修や会議でのディスカッション

- ・社内でのスモールグループディスカッションでの進行をスムーズに行う事が出来た。
  - ・社内での会議で司会をする時に役立った。
  - ・社内の複数施設で受け入れた学生を集め SGD を行った
  - ・社内ミーティング
  - ・社内研修で SGD を取り入れた。
  - ・社内研修でも SGD を行ったが、それぞれが意見を持ち、共有する機会を与えられ、活発にディスカッションが出来た。
  - ・社内研修にSGDや発表を取り入れて実践している。
  - ・周囲の状況を把握しながら自分の考えを適切に発表することの重要性を認識した
  - ・集合研修では役立ったのではないか。小学生を対象にした「お薬教室」
  - ・集合実習等での方略としての使用が理解できている
  - ・従事する職種により、様々な観点がある事を痛感したことで、実習時の主観の押し付けを避けられたと思う。
  - ・重要度などで問題を分けていく考え方
  - ・小さなグループ話し合う事で、発言しやすかったようです(意見を言いやすい)
  - ・小規模薬局での営業なので、他店舗薬剤師のコミュニケーションや考え方が参考になりました。
  - ・少人数で意見を出し合うと色々アイデアが出て形に繋がっていく。
  - ・少人数なら活発な意見や大胆な意見が出やすかった。
  - ・少人数のディスカッションとディベートの重要性に気づいた
  - ・少数意見の重要性、一定時間内で成果を出すこと
  - ・職種・施設が違う人たちと議論理解が深められたので、有意義であり、自分の施設での問題点がわかった。
  - ・職場全体での勉強会
  - ・色々な意見、考え方に触れられた事です
  - ・色々な考えの方の意見を多数決でなく、納得の上で一致させる経験ができました
  - ・新人教育
  - ・人の言葉をきくのいきいきやすいと思います。また意見を述べる人と述べやすいスタイルと思います。
  - ・人材育成
  - ・制限時間や意見のぶつかり合いを超えて、有意義な成果を上げるためにどう考えるか？といつも気にするようになった。
  - ・生涯学習
  - ・積極的に言動できるようになったと思う。
  - ・全ての学生に発言させるために、どうしたらよいか、学生同士の意見を出させる
  - ・全員の意見・考えを確認できた。
  - ・全員の意見を参考にしながら、お互いの立場や価値観を尊重し、結論を導き出す難しさを改めて実感した。
  - ・組織の中での立案
  - ・他の参加された薬剤師の意見が聞けて参考になった。
  - ・他の参加者の意見に十分に耳を傾ける
  - ・他の人の意見・考え方を聞くことで問題が解決できる。
  - ・他の人の意見をきけた
  - ・他の人の考えや意見を聞くことにより、理解が深まる点
  - ・他の薬局、病院での教育方法など比較・情報交換が出来ることが非常に良かった
  - ・他の薬局との交流ができた。
  - ・他の薬局の先生方と実務についての交流ができた。
  - ・他の薬局の薬剤師と意見を交換することができた。
  - ・他の薬剤師とも話し合っどこの薬局へ行っても通用するような薬剤師のあり方を教えてもらっていた。
  - ・他業種との会議で役にたった。
  - ・多くの考えを聞くことができた
  - ・大勢ではなかなか聞けないひとりひとりの意見が出しあえた
  - ・短い時間の中で協力し合い、意見のまとめる大変さを感じ取った。
  - ・地域での集合研修においてSGDを取り入れるようになった。
  - ・地域の方向けの薬の話の中でも SGD を作ってもらい話あっていただいた。
  - ・地区での実務実習でのミニWSへの参加で
  - ・地区や地域での活動など実際には体験させられない実習項目について話し合ったりしたこと
  - ・地区薬剤師会での講習
  - ・町田市薬剤師会でテーマを与えて SGT を学生にやらせると、生き活きする。
  - ・店内会議において、伝達ではなく、個々に考えさせる会議が行えた。
  - ・店舗でのミーティング時もワークショップで教わったやり方を取り入れ、積極的に意見交換ができるように意識した
  - ・店舗内の勉強会が、一方的ではなくそれぞれの知識、経験の情報を発せられる場となり活発な議論ができました。
  - ・討議の進め方
  - ・討論の仕方が、上手になった。
  - ・同じグループの人達と考えを共有できた。
  - ・独自の勉強会でスモールグループディスカッションを取り入れた
  - ・日常業務を行うに当たり、スタッフ間でSGDが行えるようになった。
  - ・病院や他の薬局の状況が分かった。
  - ・複数の人の意見を様々な角度から聞くこと
  - ・複数名とディスカッションすることで、自分とは違う意見、考え等を聞くことができ、為になった。
  - ・物事を進めるに当たって SGD で決めることを取り入れている。
  - ・偏りなく、みんなが考えるように仕向けることが出来る。
  - ・方略のやり方
  - ・問題解決に使えた
  - ・問題点の抽出と対応策(マスタープラン、アクションプラン)を立てる時の手段としてのSGD
  - ・問題点をクリアカットにするのに役立った
  - ・役割分担を経験することにより、より積極性を見出すことが出来た。
  - ・薬局のスタッフ間でも SGD を行うようになった。
  - ・薬局のミーティング等での応用
  - ・薬局内での安全手順書の改訂などに役立つ
  - ・薬局内での問題解決方法
  - ・薬局内会議で役立った。
  - ・薬剤師会の生涯教育で、SGDをLKJ法で分類をした
  - ・薬剤師会会議
  - ・薬剤師会研修会、業務
  - ・薬剤師会等の会議で積極的に討論に参加できるようになった
  - ・薬剤師綱領・薬剤師倫理規定について、実習生と共に理解を深めることができた。
  - ・薬歴や患者背景を示し、ディスカッションを行うことで、視点や気づきについて考えあった。
  - ・様々な職種の薬剤師が集まり、意見を交換することの大切さ
  - ・連携の大切さ
  - ・話しの進め方の参考になった。
  - ・話をまとめる、相手の意見を汲む。
- (記述 28)
3. ワークショップに参加して
- ② スモールグループディスカッションについて  
活用した業務・活動  
その他を選ばれた場合はその内容をお書き下さい。
- ・ SGDの方法を知ることができたが、活用、利用できなかった。
  - ・ SGDを利用した研修会を実施した
  - ・プライベートでのディスカッション

- ・ 会社の研修
- ・ 覚えていません。
- ・ 活用していません。
- ・ 活用してない
- ・ 業務効率化のためのお互いの意見交換が積極的に出来た。
- ・ 研修会
- ・ 固定観念にとらわれず臨機応変に対応すればいい事
- ・ 参考になったという思いはない。
- ・ 指導薬剤師の集合研修
- ・ 実務実習集合研修
- ・ 社内での研修
- ・ 社内研修で SGD を取り入れた。
- ・ 従業員教育
- ・ 新入社員研修、社内勉強会
- ・ 全体的に。
- ・ 地域でのミーティング等も SGD に関わっているの
- ・ 通常のスタッフ研修
- ・ 特に役立ってない

【記述 29】

3. ワークショップに参加して

②? スモールグループディスカッションについて  
活用した業務・活動  
役に立った点が具体的にあれば、お書きください。

- ・ ヒヤリ、ハットについてSGDすることで複数の重要点を認識できたこと。
- ・ 「災害時における薬剤師の役割について」で取り入れた。
- ・ SGDに慣れた。
- ・ SGD の有効な持ち方
- ・ SGD を行った
- ・ SGD を使った事で、多くの地域住民の意見(声)をもとに目標が定まった。
- ・ SGD を利用して考えてもらった LS もあります。
- ・ WSで体験したので 作業手順等がわかりやすくなった
- ・ いままで経験がなかったので良い体験をした。
- ・ カウンター実習において、SBO を進める上で参考になった。
- ・ グループ学習をするとき 役立ちました。
- ・ クレーム対応等の対応策についてのディスカッション
- ・ コミュニケーションをより大切にするようになった。
- ・ しいて言えば、「医療安全」の勉強会をした時に皆で「どうすれば間違えないか」とか話し合うことが出来た。
- ・ スモールディスカッションでのまとめ方
- ・ タスクとして
- ・ チーム医療について
- ・ ディスカッションの進め方
- ・ どのような意見も否定しない方法が、コミュニケーション向上に役立った。
- ・ なるべく多くの職員に係って実習を実施しようと感じた
- ・ ヒヤリ・ハットを防ぐための改善方法について話し合った。
- ・ ヒヤリ・ハット事例の認識と解決
- ・ ほかの従業員の意見も聞けた。
- ・ ミーティングなどで、業務について、討論すべき時間を作った
- ・ みんなの意見が聞けた
- ・ リーダーシップ
- ・ リスクマネージメントで活用するようになりました。
- ・ 医師との症例検討会
- ・ 医療現場では、チームで働く力が必要であり、柔軟性や状況把握力、働きかけ力も大切であるとスタッフや学生に伝えられた。
- ・ 課題への集中的な取組み、目標達成への責任感
- ・ 課題を実習生に SGD で行って貰ったりしています。

- ・ 会議
- ・ 会議で活用した。また、実務実習でもみんなと一緒に考えるような場面で活用した。
- ・ 会議で司会進行することや、意見を発表するのに役立っている。
- ・ 各自の意見について聞くことができるようになった。
- ・ 学校薬剤師と薬物乱用の啓蒙
- ・ 学生(人)の意見を聞くという意識改革
- ・ 学生さんにディスカッションさせた
- ・ 学生さんに課題を出すと、他の職員も交えてのミニ SGD が自発的に良く行われた(暇な薬局だからできるということもあるが)。実習生を受け入れると自分たちもあらためて自身を見つめ直すことができた所良かった。
- ・ 学生と、いろいろディスカッションができるようになった
- ・ 学生とのコミュニケーションを図るのに役立った
- ・ 学生とのディスカッション
- ・ 学生とのディスカッション
- ・ 学生と指導者間の問答を増やすことが出来た。
- ・ 学生と指導薬剤師で、一つの議題に対し、掘り下げて考え、お互いの意見を擦り合わせていった点。
- ・ 学生と討議できた。
- ・ 学生の本音や理想などを聞くことが可能となった。
- ・ 学生同士SGDで、問題解決に取り組んでもらえた。講義よりもお互い学びあうことの方が理解が深まった。
- ・ 活発に意見を出していくといい解決策が出てくるので、意見の出しやすい実習を心掛けた
- ・ 活用してません
- ・ 関連の薬局の実習に来ている学生との実習で活用した。
- ・ 業務に於いての問題点解決に役立った。
- ・ 業務上の問題点の抽出
- ・ 禁煙教室など
- ・ 近隣薬局と合同実習と称して月に1回は学生同士でSGDを行わせている。
- ・ 県での指導薬剤師研修会で活用した。
- ・ 個々それぞれ考えを持っていることを活かすことができることから、施設での業務でも活用するようになった。
- ・ 行動計画
- ・ 行動目標設定
- ・ 今まで他の薬剤師と討論をすることはあまりなかったので、良い経験になった。地域の会に参加しても積極的に。
- ・ 在宅医療の集合研修時及び薬局製剤の集合研修時(地域での薬剤師の活動)
- ・ 在宅業務の研修の際の症例検討会にて活用。
- ・ 指導薬剤師、他の実習生とディスカッションを行った
- ・ 実際に実習生に SGD をさせたり、地域の勉強会でも SGD を行った。
- ・ 実際に問題点を検討する際に行った
- ・ 実習、研修でSGDを多く行うようになった。
- ・ 実習指導に SGD を入れるようにしている。
- ・ 実習指導時や社内勉強会時のコメント必要時に役にたった
- ・ 実習生とディスカッションを行なう際に、話し合いの進め方を参考にしています。
- ・ 実習生との会話を自然と心がけるようになった
- ・ 実習生にそれぞれの役割を分担させてディスカッションが実施できた
- ・ 実習生に薬剤師の倫理観の説明の時
- ・ 実習生の意見を取り入れると新しい解決法の糸口になった。
- ・ 実習生の考えや知識を把握する
- ・ 実習生の討議で実際に活用した。
- ・ 実習生を交えて、職員同士でSGDを行い、業務に関する改善点などを検討した。個人個人の意見を発信することの大切さが分かった。
- ・ 実習内容で調剤過誤事例について SGD を行った。

- ・実務実習生の集合研修時にも手法として用いた。
- ・実務実習全般
- ・社内での実務実習会議で SGD を用いて、意見をまとめることができた。
- ・社内のミーティングの進め方に役にたった。
- ・社内の研修にSGDを取り入れた。
- ・社内の調剤過誤防止研修をSGDで行った
- ・社内の複数施設で受け入れた学生を集め SGD を行った
- ・社内研修でも SGD を取り入れて行うようになった
- ・社内研修にSGDや発表を取り入れて実践している。
- ・社内研修に取り入れています
- ・社内研修時のスモールディスカッション
- ・受入実習生が複数いた場合、学生と薬剤師の数名でOTCの選択をディスカッションした。
- ・集合実習等での方略として使用
- ・従事する職種により、様々な観点がある事を痛感したことで、実習時の主親の押し付けを避けられたと思う。
- ・少人数なら活発な意見や大胆な意見が出やすかった。
- ・少数意見の重要性、一定時間内で成果を出すこと、ディスカッションをしていく中で方向性が統一されること
- ・上述の研修会において、プログラムを組む上で大いに参考になっている
- ・情報交換や連携の構築・発展の必要性を痛感した。
- ・色々な考えの方の意見を多数決でなく、納得の上で一致させる経験ができました
- ・寝る学生がいなかった。
- ・新人の薬剤師研修に取り入れた。
- ・生涯学習研修会において行った
- ・積極的に意見を言えるようになった。
- ・全員一致の意思決定のためのコミュニケーションツールとして活用。
- ・地域での会議
- ・地域での事前準備
- ・地域においてグループは多職種になり捉え方が違い発表することにより明確になる
- ・地区の集合研修で活用している
- ・地区の勉強会で薬局での疑問点について SGD 形式で行った。
- ・地区単位の勉強会などで利用
- ・地区薬剤師会の研修会等でSGDを利用した
- ・地区薬剤師会や学生勉強会にて参加型の研修会を開催しました
- ・地区薬剤師会研修会
- ・町田市薬剤師会でテーマを与えて SGT を学生にやらせると、活き活きして短時間で発表にまで至る。
- ・調剤過誤などのヒアリング・ハットの話し合い。
- ・調剤室内の業務規定をしっかりと話し合っ決めて決めることができました。
- ・店舗、社内人材教育
- ・店舗スタッフを含めてグループディスカッションを取り入れた
- ・店舗でのミーティング時もワークショップで教わったやり方を取り入れ、積極的に意見交換ができるように意識した
- ・当薬局でも SGD を行うようになった。また、円滑に遂行できるようになった。
- ・独りよがりになることを避けられた
- ・複数の意見集約
- ・勉強会での在宅業務についての SGD
- ・本音で話し合うことにより信頼関係が生まれ、雰囲気も良くなった
- ・名古屋の東洋医学会の学生と医療関係者のスモールミーティングに学生が自分で参加した。
- ・名古屋の東洋医学会の学生と医療関係者のスモールミーティングに学生が自分で参加した。
- ・問題の分析について

- ・問題解決法として実際に利用しています。
- ・問題点の考え方、アプローチの方法が参考になりました
- ・問題点や解決に多くの意見が反映された。
- ・問題点を皆で抽出できた。
- ・役に立ったのではなくSGDを地区薬剤師会で実施したが、開催側が不慣れでうまく出来なかった。
- ・薬局課題を KJ 法により、スタッフ共通の課題とし、課題を達成させるようにした
- ・薬局内での勉強会でも SGD をおこなうようにした
- ・薬局内での問題解決
- ・薬局内勉強会
- ・薬局薬剤師とかかりつけ薬局・薬剤師についてSGDを行った
- ・薬剤師以外にも意見を聞く
- ・薬剤師倫理など討議を行う実習項目や会議の方法として応用した
- ・与えられるだけでなく自分で考えること
- ・様々な場面で、問題点の抽出と対応策(マスタープラン、アクションプラン)を立てる時にSGDを活用
- ・連携の大切さ他
- ・話し合いの場が増えた
- ・話を聞き、自分の考えを整理し、考え、発言できるPDCを指導できた

【記述 30】

3. ワークショップに参加して

③ コンセンサスゲーム(アイスブレイキング)について  
 役立った業務・活動

その他を選ばれた場合はその内容をお書き下さい。

- ・WS 中の親近感が増したように思います。
- ・ゲームそのものをどのように活用すればよいかわからない
- ・ちょっと意味がわかりません
- ・ひとつの出来事に時間をかけて皆で考える事は無理。結局先輩の知恵を教えてしまった。と思う。
- ・よくわからない
- ・ワークショップでのチームへの参加が自然にできるようになった
- ・会議など。
- ・会社の従業員に実施。
- ・皆で知恵をだしている色々な考え方があることを学んだが活用していないので役に立ったとはいえない。
- ・該当なし
- ・学生イベント
- ・活用していない
- ・関連施設の教育担当者研修
- ・経験として
- ・語意が記憶にない
- ・参加者融和
- ・使用していない
- ・使用しなかった。
- ・事前学習
- ・自己研鑽
- ・自己向上
- ・実際に意識して活用していません
- ・社内での研修
- ・社内研修
- ・初対面の方々とのグループ討論前、緊張を解くために有効
- ・新入社員研修、社内勉強会
- ・人生観
- ・全く覚えていません。
- ・全体的に。
- ・対人交流、実習生との接し方・関わり方

- ・地域の連携
- ・仲間内での勉強会にて
- ・通常の中でなかなか利用することが難しい
- ・当日の交流
- ・特に活用しなかった
- ・特に使用していません。
- ・特に無い
- ・特に役立たなかった
- ・特に役立ってない
- ・特に役立てる機会がなかった
- ・日頃の生活
- ・日常生活
- ・必要なかった
- ・不明
- ・未活動
- ・面識もない同士で、和気あいあいと意図つになれる事がわかった。
- ・役に立っていません。
- ・役立ったことはなし
- ・役立ったのかはよくわかりません。
- ・役立ってない
- ・役立っていない。
- ・薬局内のコミュニケーション
- ・利用できたか不明
- ・利用できなかった。

【記述 31】

3. ワークショップに参加して

③ コンセンサスゲーム(アイスブレイキング)について  
役立った業務・活動

役に立った点が具体的にあれば、お書きください。

- ・色々な考えがあり、少数意見でもSGDを行い検討する価値があった。
- ・「想像する」こと。
- ・1つのことについてスタッフ全員で考えることの重要性について説明することができた。
- ・SGDを行う際の導入としてはなくてはならないものだと実感した
- ・SGでのコミュニケーションの基本を学んだ。
- ・アイスブレイクをとるということを知った
- ・あまり役にたたない
- ・グループでの話し合いによって意思決定することで、より良い解答に近づく、ということ。
- ・グループのチームワークの達成
- ・ゲームの中で、初対面の緊張が解けた。
- ・コミュニケーションツールとして学生と話をすることのきっかけ。
- ・コミュニケーション力がアップした。
- ・コンセンサスをとり学生の不安を取り除く
- ・タスクとして
- ・なにをやったかまったく覚えていない
- ・まったく、理解しがたい状況に強制的に落とされたとき、限られた時間での状況判断、優劣をつけるための訓練になった。
- ・ミーティングでの意見の集約
- ・ものの考え方、根本を見直すきっかけ。また、いろんなことを考える人もいるもんだと、改めて実感したこと。
- ・よく覚えていない。
- ・リーダーシップが養われた。
- ・リーダーシップとネゴシエーション
- ・意見をまとめる事
- ・意見をまとめる時の参考になった。
- ・意見を言い合う

- ・一つの物事に対して人によっていろいろな考えがあることが分かった。
- ・価値観は人により違うが、チーム力を最大限生かした業務
- ・会議で使用し、好評でした。実務実習では最初の頃に行ったことがあるが、少し和んだ気がする。
- ・会議などで初めにアイスブレイクするとその後進行がしやすくなること。
- ・解答を導くためにいろいろな考えがあり、その中でどのような視点で問題を見るべきかを客観的に捉えること。
- ・簡単なゲームで、コミュニケーション力が高められること(単純な業務でも、それを通して互いのコミュニケーションを得る)
- ・業務の優先順位をつける時少し慎重になりました。
- ・緊急時の対応と人間心理
- ・緊張をほぐす大切さがわかった
- ・緊張感がほくれた
- ・具体的にというのはなかなか思いつかない。物事を順序だてて推察できる訓練になったのでは？と思う。
- ・見知らぬチームメイトのタイプが分かり、距離が一気に縮まった。
- ・限られた時間の SGD で、重要度、緊急度から優先順位を考えられた。
- ・個人個人の考え方もまれて意識改革され良いと思われる方向に向かう
- ・個人個人考え方が違うことがよくわかった。
- ・個人的判断を強調することなく論理的根拠によって対処する。安易な妥協はしない。多数決では決めない。
- ・考え方・優先順位個々に相違があり勉強になった。
- ・雑談をしながら重要なポイントをさりげなく教えた
- ・自分が思っていた像と従業員の像の新たな一面。
- ・自分の意見だけでなく、他の人の意見を取り入れなければならぬと分かった点。
- ・実務実習受け入れに当たって、職場のコンセンサスを得ることが必要であること
- ・社内会議でのコンセンサスを得る為の知識が出た
- ・社内教育
- ・社内新入社員研修等の初めにこのようなゲームを取入れたいと思った。
- ・周智を集めるとよりよきものができる。
- ・初めから正解(合意)でなくても重要なのはディスカッションを通して”変わる”であることを認識した
- ・初対面の方が互いに仲良くなれるきっかけを作ることで、円滑なコミュニケーションが取れる事を理解した。
- ・初対面の方が互いに仲良くなれるきっかけを作ることで、円滑なコミュニケーションが取れる事を理解した。
- ・初対面同士のSGD前にアイスブレイキングを取り入れる重要性を感じた。
- ・人が集まると色々意見が出るが一人より役に立つものが出来上がる事が判った。
- ・人に話をするときの話題として役立った。
- ・全く興味がなかった
- ・全員で話あい、意志決定すること
- ・全員に発言機会を与える事で議論が活気付き、良い意見を出してもらう事に繋がりました。
- ・他のスタッフとの協調性
- ・他人の考え方を聞き、ディスカッションすることで、自分の考え方が変わったり、新たな結果を導くことができる手段であることがわかった。
- ・多角的な考えを持てるようになった
- ・多角的に物事をみる
- ・長丁場の実習の中で息抜きを上手に入れるようになった。
- ・授業デビュー前の新人研修・ロールプレイ時に別のアイスブレイキング手法を取り入れた
- ・日々の業務の中で自分の価値観でスタッフの意見をきりすて

- てはならないということ
- ・表面上だけでなく、いろいろなモノの見方・考え方があることに気づきを得ました
- ・普段、意見を言わない人にも自由に発言してもらうことが出来た。
- ・問題をどのように分析するか
- ・問題点、改善点に関して理解できた
- ・薬局内でのミーティングで同じゲームをしてチームワークの強化に役立った
- ・薬局内でのミーティングにて方針を立てるのに役に立った。
- ・優先順位をつけることは大切
- ・理事会(薬剤師会)で自分の意見をしたり、一字一句のがさず聞き、記録(議事録)をとる事で相手を理解できた

【記述 32】

3. ワークショップに参加して

③ コンセンサスゲーム(アイスブレイキング)について  
活用した業務・活動  
その他を選ばれた場合はその内容をお書き下さい。

- ・お茶の時間を利用した
- ・よくわからない
- ・外部講演者を招いての社内教育の時に同じようなことをして、違和感なく取り組めた
- ・該当なし
- ・活用したことはなし
- ・活用していない
- ・活用していない
- ・活用していない。
- ・活用していません。
- ・活用してない
- ・活用できたかどうか不明
- ・活用できていない。
- ・使用しなかった。
- ・資料を見直したときにはあまり見えていない項目でした
- ・事前学習
- ・自己向上
- ・社内での研修
- ・上記と同様
- ・新入社員研修、社内勉強会
- ・人生観
- ・全く覚えていません。
- ・全体的に。
- ・特に活用していない。
- ・特に活用しなかった
- ・特に使用していません。
- ・特に役立ってない
- ・日頃の生活
- ・日常生活
- ・不明
- ・利用できなかった。

【記述 33】

3. ワークショップに参加して

③ コンセンサスゲーム(アイスブレイキング)について  
活用した業務・活動  
役に立った点が具体的にあれば、お書きください。

- ・アイスブレイキングを初対面時に活用
- ・いろいろな方針決めが出来た。
- ・グループ内の決定を論理的根拠で決める。

- ・コンセンサスゲームを行ったわけでは、ないがアイスブレイクをとることで、空気が変わった
- ・スタッフの性格が分かった
- ・スモールディスカッションで
- ・ひとりひとりの意見を尊重し、全体の意見をまとめ上げる
- ・ミーティング
- ・リーダーシップとネゴシエーション
- ・遠慮しないで自分の意見・考えを伝える。安易な妥協はマイナス効果。相手の意見を十分聞く。
- ・何かを決めるとき、スタッフ間で意見を出し合うことでより良い内容にすることができた。
- ・何が正しいか難しい
- ・何に重点を置くか、指導でも役立ちます
- ・会議で使用。
- ・会議で司会進行することや、意見を発表するのに役立っている。
- ・会議の際に強引な考え方を改めた
- ・学生さんとのやりとり。まとめの時間に活用
- ・学生さんにコンセンサスゲームしてもらった
- ・学生の考えや職員の意見を取り入れ柔軟になれた。
- ・活用はしてません
- ・関東大震災の被災者救済についてなにを最初に送るべきか考えさせられた。
- ・業務の優先順位などを学習させるのに役立った。
- ・緊急時の対応と人間心理
- ・緊張感をほぐす手段が分かり役に立った。
- ・決断力の訓練
- ・研修会
- ・考えてもらうようにした。
- ・混雑時での業務の優先順位を改めて考え直しました。
- ・災害時の行動について学生と話し合った。
- ・指導内容に幅を持たせる事ができた
- ・“自分がチームの中でどう見られているのか客観視でき、公平にいろいろな意見についてコメント
- ・出来るようになった”
- ・自分ひとりで考えた場合より、複数で考えた場合の方が良い結果が得られること
- ・実習初日の顔合わせのとき、緊張を取り除くため各実習生4名の薬学部志望動機と趣味について語ってもらった。
- ・実習初日は、スタッフミーティングの際、取り入れるようにしている。
- ・実習生の緊張をほぐすことができた
- ・実習当初と社内教育の導入時
- ・社内研修に取り入れています
- ・初対面の相手との話し合い時に必要となる方向性がわかった
- ・少数意見の大切さを取り入れることの重要性を日常業務にも大いに取り入れた。
- ・職場で、似たような種類のゲームをやってみたが、結構意見が分かち、面白かった。よく知り合った者同士でも、意外な一面が見られる。
- ・職場の中野チームワーク。実習生の環境への適応
- ・新人研修に取り入れてみたいと思う。
- ・相手が発言しやすい環境を作ること。
- ・他の人の意見をじっくり聞き、考えるようになった。
- ・中学生相手に講義をするときに役立てた
- ・導入研修時に活用したいとはおもっているがまだ機会がない。
- ・特にないが、他のテーマがあったら、何度でも受けてみたい。
- ・表面上だけでなく、いろいろなモノの見方・考え方があることに気づきを得ました
- ・未活用
- ・問題点を洗い出し順番を決め解決していく点
- ・薬局ミーティングの場で取り入れ、学習することができました。
- ・薬局員間で意見の違いがあった時にコンセンサスゲームの体

験を利用し解決した。

- ・薬局内でよく意見を出し合い、検討し手がスタッフ納得したうえで決定するということ。

【記述 34】

3. ワークショップに参加して

④ KJ法(課題の抽出)について

役立った業務・活動

その他を選ばれた場合はその内容をお書き下さい。

- ・KJ法というものを知ったという事が良かった
- ・KJ法を活用することはなかった。
- ・KJ法を問題点の抽出をするときに行ったり、工夫して行ったりしている
- ・KJ法を利用するほどの課題がなかった。
- ・あまりこの方法を活用していません
- ・この手法は、既にいろいろな会議や研修で使用している。
- ・もともと知っていたので時に役に立っていない
- ・よく覚えていない。
- ・家の建て替え、家族会議
- ・会議
- ・会社の研修
- ・会社の研修会で使用出来たこと。
- ・該当なし
- ・活用していません。
- ・活用しなかった。
- ・業務の改善のため役立てようと思うが実施していない。
- ・業務の中で上手な使いこなしができない
- ・経験として
- ・研修
- ・研修会
- ・限られた業務の中では活用は難しい。
- ・個人の知識として役立った。
- ・考え方は理解できるがなかなか実践できない
- ・今のところ、特に役に立つ場面はない
- ・仕事の課題抽出にも活用できた。
- ・使わなかった
- ・使用しなかった。
- ・思考法として役に立った
- ・自己研鑽
- ・自社研修
- ・自分のアイデア整理
- ・社内でのレポート
- ・社内での活用、規格の選定など
- ・社内での研修
- ・社内での研修、店舗運営
- ・社内教育研修
- ・社内研修
- ・新入社員研修、社内勉強会
- ・全体的に。
- ・調剤過誤を防ぐ方法を考えるとき
- ・通常のスタッフ研修
- ・特に使用していません。
- ・特に役立たなかった
- ・日常業務での考え方の整理方法
- ・日常業務の検討
- ・日々の生活
- ・病態など、病気と治療に関して、頭の中で整理する意味で役立った。(KJ法を使って)
- ・服薬指導の問題点抽出。日頃の業務の評価
- ・役に立っていません。
- ・役立たなかった

- ・役立ったことはなし
- ・役立っていない
- ・薬学大会で講演を聞いた
- ・薬局運営における課題の抽出をする時に考え方として参考となった
- ・薬剤師の役割
- ・薬剤師会での研修会

【記述 35】

3. ワークショップに参加して

④ KJ法(課題の抽出)について

役立った業務・活動

役に立った点が具体的にあれば、お書きください。

- ・「社会における薬剤師の役割」について学生を入れ薬局内で実施。
- ・KJ法そのものを知らなかったため、研修時、助かった
- ・KJ法の考え方で整理できるようになった。
- ・KJ法を使うまでのレベルに無い。
- ・PCシステムの入替えに伴い、職員から問題点を抽出する際に役立った。
- ・あまり発言しない人の意見も抽出できる点
- ・ある事柄から生じるいくつかの問題点をまとめる時
- ・いろいろな方面から意見を出せ、まとめ、分類し、解決につなげていける点
- ・オリエンテーションで、学生に薬剤師像を導くとき役に立つ
- ・ここまでのレベルに到達させるには、どんなことをどんな順番ですれば良いかをいくつかの点から行って現実に合ってるかどうか、教えやすいか、理解しやすいかを試してみた
- ・コンセンサスゲーム
- ・どんな患者背景があるのか考えてみる方法に役立った
- ・ハイリスク薬の説明書を作成するとき、ポップを作成するとき
- ・パラパラの意見を集約して問題点を抽出する方法が学べた。
- ・みんなで考えること。
- ・モチベーションの維持、他人任せの行動は慎む
- ・ワークショップにて課題を抽出したことによって、事前に薬局の人員やアイテムをある程度準備する事が出来た。
- ・意見をまとめられるようになった。
- ・意見を出してもらう方法として
- ・何が問題であるかを整理して重要度と緊急度を改めて認識できたこと。
- ・何でも書いて形にしてみるという問題点の抽出法を知ることができた。
- ・課題が日常になると、課題でなくなってしまうことがあるので、定期的に視点を変えることが大事だと思いました
- ・課題抽出の意義が理解できた
- ・会員の中でKJ法自体を知らなかった。
- ・会社のルールや方針、指針を作る際に使用して、上手くいった。
- ・会社の中での業務改善について。
- ・学生が何がわからないかではなく、どう理解できていないのかを考えるのに役立った。
- ・学生を集めてSGDをおこなう時や薬剤師の研修会でKJ法を使った討議、発表に役立った。
- ・管理者会議
- ・業務の問題点の解決
- ・業務上の問題点の抽出
- ・具体的な抽出のしかたを習得できた
- ・計画作成で活用
- ・現状の解決方法(優先順位)がわかりやすくなった。
- ・限られた時間の中で教えるので、優先順位の高いものを指導するようにした。

- ・ 合同実務実習、地区薬剤師会講習
  - ・ 今後問題対策などの際には取り入れたいと考えている。
  - ・ 災害時に薬剤師ができることについての討議
  - ・ 参加型実習を行うことで実際の医療を感じてもらうことができた。
  - ・ 参加型実習を行うことで実際の医療を感じてもらうことができた。
  - ・ 仕事の分類、振り分け
  - ・ 指導薬剤師の研修会、実習生の討議で活用した。
  - ・ 支部活動でどんな講演をしてほしいかについて話し合ったとき。
  - ・ 施設での業務改善を話し合う時に導入、問題点を洗い出すのに役に立った。
  - ・ 紙に書くことによってより具体的になった
  - ・ 自分たちの店における問題についてもKJ法を用いて話しあいができた。
  - ・ 自分のグループで KJ 法にてまとめた実務実習の問題点について参考にしながら解決できるように実習をすすめた。
  - ・ 自分の頭の中にある問題を分類し整理するときに役立つ
  - ・ 自分自身の問題点に対する意識を方向付けするにはよかったが実務に有効化していない
  - ・ 自分達の施設での問題点を考えて、それに取り組んでいく事が出来た。
  - ・ 実際に自分が問題視していたのが話題になった
  - ・ 実際に自分の薬局で実践した
  - ・ 実際の業務での問題点解決にも使いました
  - ・ 実習に学生の希望を取り入れられた
  - ・ 実習の進み方に問題が無い、迷いが生じた際に、思考の整理をする為に役立つ。
  - ・ 実習生の受け入れに対する問題点
  - ・ 実習中に何を問題とするかの発見につながる手法を学べた
  - ・ 実務実習が初めての取り組みだったため、これはできないかも、ということがいくつかありました。そのような時、KJ 法を参考にし、解決法を探しました。
  - ・ 実務実習の問題点の洗い出しに役立つ。
  - ・ 実務実習集合研修の企画立案時に用いた
  - ・ 社内会議・薬剤師会部会
  - ・ 社内研修にSGDや発表を取り入れて実践している。
  - ・ 集合研修においてしっかりと実習が成り立った
  - ・ 集合実習での使用が理解できている
  - ・ 出来ない課題、出来ている課題を把握する。
  - ・ 所属している薬局の規模・門前病院との関係等で大きな山が他の班より多くなった事で、自分の知らないことに対して気がつくことが出来た。
  - ・ 少数での意見の集約にとっても有効な方法であった。
  - ・ 情報をまとめる能力、チームワークと問題解決能力の向上。
  - ・ 職員全員でKJ法実施。学生の先入観ない考えをひきだせる
  - ・ 色々な意見を島にまとめる。孤独なカードも忘れぬ。
  - ・ 人数が多くても焦点の絞った話し合いになりました。
  - ・ 生涯学習
  - ・ 相手に気を使わず好きなことが書ける
  - ・ 他職種との合同勉強会
  - ・ 多くの意見を集約・分類する為に、k-j 法は大変有効な手段であると理解できました。
  - ・ 多くの要素が複雑に絡んでいる場合の整理
  - ・ 地域での理事会
  - ・ 地域に役立つ薬局像について話し合った
  - ・ 地域の診療所(医療生協)の集会で、地域住民の思いが具体的に、より理解することができた。
  - ・ 地区の研修でも、KJ法を活用した。
  - ・ 抽出方法を実際に行ってみたこと。
  - ・ 調剤を間違ったときに問題点をあぶり出すのに使った
  - ・ 調剤過誤対策
  - ・ 直接結びつかない事を理解させるツールとして役立つ
  - ・ 店舗での問題解析、社内教育
  - ・ 店舗の運営、問題点等を抽出し、解決出来た。
  - ・ 同じ課題をもつ薬局同士で、話し合うことができた。
  - ・ 日常の課題抽出の流れや解決などの考え方
  - ・ 日常業務の問題解決に利用した
  - ・ 日々の業務での問題点の解決の仕方が理論的にやれるようになった
  - ・ 日々の問題点の整理
  - ・ 漠然としていた不安や悩みなどをグループ分けすることで、問題点が絞り込まれ解決すべきことが明確になった。
  - ・ 非常に分かりやすく、問題解決の手法として取り入れている
  - ・ 必要・不必要など島にグループ分けする作業は新鮮でした。今だに難しかったと思っています。
  - ・ 部下指導
  - ・ 複数の学生たちと様々なテーマを KJ 法でまとめていった
  - ・ 複数薬剤師の場合各々の問題点は違う今後 KJ 法を使ってみたいと思う
  - ・ 物の考え方
  - ・ 未活用
  - ・ 問題の抽出・解決の方法を常に考えるようになった。
  - ・ 問題の抽出方法
  - ・ 問題解決を行なう際の考察方法として取り入れている
  - ・ 問題点が明確になり整理できる。
  - ・ 問題点が上がっていたことに直面したときに解決策が助けとなった。
  - ・ 問題点の抽出
  - ・ 問題点の抽出方法が理解できた
  - ・ 問題点の分類したり、解決するために役立っている
  - ・ 問題点の本質を見極めること整理でき問題点を解決することは有効だとわかった。
  - ・ 問題点を絞り込む際に役立つ。
  - ・ 問題点を他方面から抽出していくことで、解決策がみえてくるということを知った。
  - ・ 問題点を他方面から抽出していくことで、解決策がみえてくるということを知った。
  - ・ 問題点及び弱点を絞り出した。
  - ・ 問題点抽出に利用した
  - ・ 薬局で行なったわけではないが、指導の本を理解する上で役に立ったと思った。
  - ・ 薬局課題を KJ 法により、スタッフ共通の課題とし、課題を達成させるようにした
  - ・ 薬局業務の問題点の抽出に活用した。
  - ・ 薬剤師の役割について他施設に実習に実習に来た実習生と一緒にいった。
  - ・ 優先順位の決定。
  - ・ 様々な具体的な問題点を、体系的に図式化し、関係づけができる点。
- 【記述 36】
3. ワークショップに参加して
- ④ KJ 法(課題の抽出)について  
活用した業務・活動  
その他を選ばれた場合はその内容をお書き下さい。
- ・ 会議中の問題抽出、解決法への検討に使用。
  - ・ 会社の研修
  - ・ 該当なし
  - ・ 活用したことはなし
  - ・ 活用していない
  - ・ 活用していない
  - ・ 活用していません。



- ・活用していません。
- ・活用しなかった
- ・活用しなかった
- ・活用しなかったかと思えます
- ・活用せず
- ・活用できていない。
- ・研修
- ・研修会
- ・現在活用する機会はない。
- ・使用しなかった。
- ・自社研修
- ・実際に学生と共に、抽出する場面にも遭遇させてみた
- ・社内での研修
- ・社内での研修
- ・新入社員研修、社内勉強会
- ・全体的に。
- ・短時間での議論に向けた手法だった。
- ・特に活用していない。
- ・特に活用しなかった
- ・特に使用していません。
- ・日常業務に役立っている。
- ・日常生活においてあらゆる問題解決への考え方
- ・日々の生活
- ・薬局運営における課題の抽出をする時に考え方として参考となった
- ・薬局内の改善点の整理。
- ・薬剤師の役割
- ・薬剤師会の実務実習後の考察
- ・薬剤師会研修会で実際に行った
- ・話題として使用した

【記述 37】

3. ワークショップに参加して

④ KJ法(課題の抽出)について

活用した業務・活動

役に立った点が具体的にあれば、お書きください。

- ・1つの課題で正解がないあるいはたくさんある場合、いろいろ挙げて各々についてディスカッションできた。
- ・KJ法による問題の抽出のスキームはとっても勉強になったが、これを活用する場面がまだないのが、残念。
- ・KJ法を使うまでのレベルに無い。
- ・かくせいざいはんざいしゃ(けいむしょ)でのきょういく
- ・クレーム対応の対応策の検討会等
- ・ケアマネージャー、ヘルパーとの勉強会で薬局に望む事をテーマに討論した時
- ・つまづいた時に冷静に問題を抽出するという事ができて役に立った。
- ・まとめの時間に活用
- ・リスクマネジメント
- ・リスクマネジメントなどで学生さんもしっかり理解しており、やりやすかった
- ・ワークショップで学んでいたため、スムーズに研修に臨めた
- ・医薬品安全管理体制
- ・医療生協の診療所の40周年の記念事業が具体化された。
- ・一つの意見ではないという認識
- ・一つの問題には様々な要因があり、解決する方法も色々な方向からアプローチすることができる
- ・課題が日常になると、課題でなくなってしまうことがあるので、定期的に視点を変えることが大事だと思いました
- ・会議
- ・会議で使用。

- ・解決方法を見出せた。
- ・各自の意見がまとまりやすく明確になった。
- ・学生が、どう理解できていないのかを考える上で大変役に立った
- ・学生が薬局での業務で不便に感じていることを改善してもらう自習で、応用した
- ・学生と集合研修で行えた
- ・学生に対して何が出来ていないか？などの抽出方法を行った。
- ・学生を集めてSGDをおこなう時や薬剤師の研修会でKJ法を使った討議、発表に役立った。
- ・学生自身が、服薬指導で自分の課題を見つけてもらうときに役立った。
- ・活用はしてません
- ・患者さんの処方箋から現状を考察する時。
- ・急な実習計画の変更があったときに参考になった
- ・業務の見直しに役立えた。
- ・業務の効率について問題点を抽出するなど
- ・業務上の問題点の抽出
- ・勤務先の業務内容や指針の改善時に活用している。
- ・具体的な指導内容を自分で考え、マニュアルも活用した実習内容の充実
- ・県での指導薬剤師研修会で活用した。
- ・個々人が抱える問題点を幅広く抽出することができた
- ・孤独な島の重要性
- ・今の現状の分析とこれからの課題が明確になった。
- ・仕事の進め方に役立ちます。
- ・指導する立場の知識をどう高めるか？を学ぶ
- ・指導薬剤師の研修会、実習生の討議で活用した。
- ・指導薬剤師は皆、これから行う実務実習への不安という問題点が浮かび上がり、同じスタートラインに立っていることが分かり、気が安らいだ。
- ・施設での業務を考えるときにKJ法を活用することができた。また、実習生にもKJ法を説明し、それを活用して資料を作成してもらうことができた。
- ・実習課題について学生により深く考えさせることができた
- ・実習時や日常業務時に問題点が生じるたびにKJ法による抽出をした
- ・実習生にテーマを与え、それに対するアイデアを幾つも挙げてもらい(指導薬剤師の考えたアイデアも合わせて)、K-J法を用いて検討しました。
- ・実習生を交えて薬局内の討論会。うっかりミス、おなじ作用がある医薬品の違いなどの話し合い。
- ・実習等でKJ法で問題整理を行った。
- ・実習方法や会議方法のひとつとして活用している
- ・実務実習が始まる前の問題点抽出、終わってからの問題点抽出に利用した
- ・実務実習全体研修
- ・実務実習内での学生の課題提供や実際の業務改善等に役立っていた。
- ・社員研修時に利用した
- ・社内でのレポート
- ・社内での実務実習会議でKJ法を用いて問題点を抽出することができた。
- ・社内教育
- ・社内業務での問題点の抽出。研修会のテーマの抽出
- ・社内研修でのディスカッション
- ・社内研修でもKJ法を取り入れた
- ・社内研修にSGDや発表を取り入れて実践している。
- ・若手の勉強会を立ち上げる時、方向性を統一するために利用しました。
- ・集合実習で使用
- ・情報の整理をして問題解決に向ける。

- ・ 色々な問題点を出し合う事を考えるようになった
- ・ 新型インフルエンザの薬局での対応をKJ法で考えた。
- ・ 正直 上手く活用出来ませんでした。
- ・ 全てのことが実習できるわけではないので、優先順位がわかりやすくなった。
- ・ 他の薬局との合同実習で使用。
- ・ 他の薬剤師と話し合った
- ・ 多くの要素が複雑に絡んでいる場合の整理
- ・ 地域での事前準備
- ・ 地域の薬剤師活動の際にKJ法を使って問題解決に至った。
- ・ 地域や施設での討議
- ・ 地区でKJ法を活用した災害対策の研修会を行った。
- ・ 地区の勉強会で使用した
- ・ 地区単位の勉強会で利用
- ・ 地区薬剤師会の研修会等でKJ法を利用した
- ・ 地区薬剤師会や学生勉強会にて参加型の研修会を開催しました
- ・ 調剤ミスをなくすためにどうすれば良いかをKJ法でやってみました
- ・ 調剤ミス対策で原因や発生時期を分析し、いつ、何に、どのように注意したら良いかを割り出せる事が多くなった。
- ・ 調剤過誤対策
- ・ 調剤過誤対策に役立った。
- ・ 調剤過誤対策ミーティングでこの方法を用い、ディスカッションを行いました。
- ・ 店舗ミーティング時に活用した
- ・ 店舗業務・設備の問題抽出
- ・ 店舗内ミーティングの問題点(インシデント対策など)を挙げるときに活用した。
- ・ 都薬の医薬分業支部指導者会議
- ・ 部下指導
- ・ 複数の意見を集約する
- ・ 複数の実習生と新入職員でプロダクトをつくってもらった
- ・ 未活用
- ・ 問診表の内容改善のため、学生と職員と一緒に意見を出し合った。
- ・ 問題点がやすかった
- ・ 問題点が明確になり整理できる。
- ・ 問題点の解決等の検討
- ・ 問題点の洗い出しと優先順位の整理
- ・ 薬・薬連携のSGDの進行時
- ・ 薬局経営他すべてこの方法で考える事が身についた。
- ・ 薬局内業務の問題点について、KJ法で抽出できた。
- ・ 薬剤師の役割について他の薬局の実習生と一緒にKJ法を活用して話あった。
- ・ 薬剤師会で行った
- ・ 薬剤師会への報告と講演、薬局内の情報管理室設立
- ・ 薬袋作成時にグループ分けする時に活用
- ・ 様々な場面で、問題点の抽出の手段としてKJ法を活用
- ・ 理事会役員が決まらない時に問題を挙げ一つ一つ解決し、役員が決定された
- ・ 話題に役立った

【記述 38】

3. ワークショップに参加して  
⑤ 問題点への対応について  
役立った業務・活動

その他を選ばれた場合はその内容をお書き下さい。

- ・ 2年も前のことを聞かれても、もう覚えていません
- ・ 家の建て替え、家族会議
- ・ 該当なし

- ・ 覚えていません。
- ・ 活用していない。
- ・ 仕事の問題点の確認や対応に役立った。
- ・ 新入社員研修、社内勉強会
- ・ 全体的に。
- ・ 特にその技法を日常で使用していない
- ・ 日々の生活
- ・ 服薬指導
- ・ 役だったものは特にありません。
- ・ 役に立っていません。
- ・ 薬剤師会研修会

【記述 38】

3. ワークショップに参加して  
⑤ 問題点への対応について  
役立った業務・活動

その他を選ばれた場合はその内容をお書き下さい。

- ・ 2年も前のことを聞かれても、もう覚えていません
- ・ 家の建て替え、家族会議
- ・ 該当なし
- ・ 覚えていません。
- ・ 活用していない。
- ・ 仕事の問題点の確認や対応に役立った。
- ・ 新入社員研修、社内勉強会
- ・ 全体的に。
- ・ 特にその技法を日常で使用していない
- ・ 日々の生活
- ・ 服薬指導
- ・ 役だったものは特にありません。
- ・ 役に立っていません。
- ・ 薬剤師会研修会

【記述 40】

3. ワークショップに参加して  
⑤ 問題点への対応について  
活用した業務・活動

その他を選ばれた場合はその内容をお書き下さい。

- ・ 2年も前のことを聞かれても、もう覚えていません
- ・ 該当なし
- ・ 覚えていません。
- ・ 活用したことはなし
- ・ 活用していない
- ・ 活用していません。
- ・ 上記と同様
- ・ 新人教育
- ・ 新人教育
- ・ 新入社員研修、社内勉強会
- ・ 全体的に。
- ・ 特に使用していません。
- ・ 日常生活
- ・ 薬剤師会研修会で実際に行った

【記述 41】

3. ワークショップに参加して  
⑤ 問題点への対応について  
活用した業務・活動

役に立った点が具体的にあれば、お書きください。

- ・ KJ 法で問題抽出し、実務実習を受けるに当たり、緊急性と重要性で展開して対策を検討できた。
- ・ SGD、KJ法、二次元展開法等
- ・ マイナス因子を減らす。
- ・ ミーティング内容のまとめに活用
- ・ 過誤を起こした時の対処法としての考え、アドバイスが学生さん達にうまく伝えられたかなと思われた。
- ・ 過誤を起こした時の対処法としての考え、アドバイスが学生さん達にうまく伝えられたかなと思われた。
- ・ 学生がかかえる問題点の本質について一緒に考えることができた
- ・ 学生と指導者のコミュニケーションの方法を話し合ったため、実習に活かすことができた。(プロフィールの交換など)
- ・ 学生と指導者のコミュニケーションの方法を話し合ったため、実習に活かすことができた。(プロフィールの交換など)
- ・ 学生を指導する時に具体的にかつ成果を上げる方法を検討できた。
- ・ 業務で行き詰まった際にこの考えを使用。
- ・ 業務について各職員また職員間、2次元展開法に基づいて全てではないが問題点に対応していると思われる。
- ・ 業務に関する問題に対して、自分の解決策を職員に浸透させる場合に活用している。
- ・ 業務の役割分担
- ・ 業務の優先順位を決め、個々の役割を超え、全員ができるようにスキルUPしていくことを考えた
- ・ 業務の連携を円滑にするため、伝達の仕方を改善しました。
- ・ 近隣の薬局をお願いして協力してもらうことが出来た。
- ・ 繰り返し検討する事で起こる問題も少なくなります
- ・ 考え方が役立った
- ・ 指導薬剤師だけでなく、みんなで指導していくということで、よりよい指導ができる。
- ・ 質問に回答を複数考えさせることにより、学生の考えの幅が広がってくれたと思います。
- ・ 実習を終えて、問題点・解決策を明確化し来季へ向けてカリキュラムの検討を行っている
- ・ 実習時や日常業務時の問題発生時に KJ 法と連動して整理し、優先順位を決定できた
- ・ 実習生のモチベーション維持に活用。もやもやは吐き出させる。わからないところは言ってもらう。
- ・ 実習生の問題解決
- ・ 集合実習で使用
- ・ 重要度・緊急度を軸に問題点を並べると優先的に着手すべき業務などがよく理解できる。
- ・ 出来てない事について、次回のスケジュールに組み込んだ
- ・ 整理したものをどうすれば改善されるかを分析し、解決していく
- ・ 対応方法の検討
- ・ 地域での事前準備
- ・ 地域や施設での討議
- ・ 調剤過誤対策
- ・ 二次元展開法を用いて、社内で優先すべき業務の共有化ができた
- ・ 日常の業務においても、問題点の重要度と緊急度の双方を考慮した上で、優先順位を付けて取り組んでいます。
- ・ 反対意見を持っている人の気持ちや考えを良くくみ取り対応することで職場全体として良い方向になった。
- ・ 未活用
- ・ 目標未達成時に問題点について話ができた
- ・ 問題の明確化と解決策の作成に活用できた。
- ・ 問題の明確化と変革目標の設定
- ・ 問題は山積みだが、一つずつ解決方法を考えていくことができた。
- ・ 問題をうまく解決できた
- ・ 問題意識の向上性

- ・ 問題提議の仕方
- ・ 問題点の対応策からアクションプランまで作成して 実際に実施した
- ・ 問題点の分析に時間をかけるようになった
- ・ 問題点の本質を探ることで、自身の判断とは違った方法で解決できる場面もあることに気付きました
- ・ 問題点への理解と協力を得やすい体制を整備した
- ・ 問題点を解決する為に必要な手段・方策の作成を学生と共に考える。
- ・ 問題点を洗い出して解決策を探った
- ・ 問題点解決に実習生と一緒に考える
- ・ 薬局での雑貨販売方法について応用した
- ・ 薬局による実習内容のバラツキを減らすため、他薬局の協力を得るようにした。
- ・ 薬局業務手順の見直し。
- ・ 優先順位の高い問題からの解決ではなく、解決が容易なものから取り組むことが出来た。
- ・ 優先順位を決めることは難しく、順番を間違えると、逆に作業が滞った
- ・ 様々な会合や事業において問題点の抽出と対応策の考案に大いに活用している
- ・ 老人ホームなどの薬剤管理

【記述 42】

3. ワークショップに参加して
- ⑥ PNP(positive-negative-positive)によるフィードバックについて  
 役立った業務・活動  
 その他を選ばれた場合はその内容をお書き下さい。

- ・ OSCEトライアル時
- ・ OSCEの評価者
- ・ フィードバックによる気でもらう事の大切さです
- ・ よく覚えていない・
- ・ 押しなべて、人間関係を円満にする
- ・ 家などでも PNP を心掛けていいる。
- ・ 家庭における教育
- ・ 該当なし
- ・ 覚えていません。
- ・ 学生指導
- ・ 患者対応など
- ・ 頃合いやタイミングが難しくこなせていない
- ・ 今のところ役立つ場面がない
- ・ 子育て
- ・ 子育て
- ・ 子育てでも PNP を心がけています
- ・ 子供の教育
- ・ 子供への対応
- ・ 事前学習
- ・ 自分の子供に対して
- ・ 新入社員研修、社内勉強会
- ・ 全体的に。
- ・ 体験した記憶がない
- ・ 通常業務
- ・ 特に使用していません。
- ・ 日常生活
- ・ 日々の生活
- ・ 部下育成
- ・ 服薬指導
- ・ 役だったものは特にありません。
- ・ 役に立ったかは不明
- ・ 役に立っていません。

- ・用語に記憶がない

## 【記述 43】

## 3. ワークショップに参加して

## ⑥ PNP (positive-negative-positive)によるフィードバックについて

## 役立った業務・活動

役に立った点が具体的にあれば、お書きください。

- ・ PNP でフィードバックする事で、ネガティブな意見だけが強調されず、うまく改善してもらうことができたように思う。
- ・ PNPで学生さんに接することで、落ち込んだり自信をなくしかけても前向きに取り組むことができた。
- ・ PNP を意識することで、学生の長所を積極的に探すようになった
- ・ アドバイスや改善すべき点をPNPで行って スムーズに事が運ぶ事が多くなった
- ・ いいところ、優れているところを見つけるように、より努めるようになった点
- ・ かける言葉一つで業務への意欲が変わることがありました。
- ・ コーチング
- ・ パートの学生(4年生の頃)へ注意する時に、思い出しながら伝えるようにした。
- ・ フィードバックによる学習意欲の向上に役に立った
- ・ フィードバックの技法
- ・ プライマリ・ケアの現場で生活習慣病の生活指導の際、行動変容を促せた
- ・ プリント作成などで各項目が3回は振りかえられるようにした
- ・ ポジティブな意見を先に話すため、改善点が指摘しやすい
- ・ ほめて育てることの重要性
- ・ ミスが多い職員に対して人間関係を壊すことなく注意が出来ました。
- ・ やる気を維持させるにはいいアドバイスの方法だと思います。
- ・ 一つ一つの課題について実習生のやる気を失わせることなく継続することができたと思います。
- ・ 一般的に negative-positive が多いの中で、モチベーション・効率としてより良い考え方と感じました
- ・ 一番注意して行った
- ・ 一方的に考えを押しつけるよりも学生からの理解に対するリアクションが自然だった感じがする。
- ・ 何か注意をしたり、指摘をしなればならなかったとき
- ・ 学習者だけでなく指導者も共に成長していくという気持ちで実習に臨めた事
- ・ 学習者のやる気を高めたり、モチベーションの維持や着実な成長の為に知っておくべきだと思いました。
- ・ 学生がミスをしたり、間違った考えをした時。 普段なら、がみがみ怒鳴って終わるところを、指導者側が、ただ、怒鳴るのではなく、一旦考えてから、相手を認め、修正点を指導し、今後の方向性を示すことができた。
- ・ 学生さんに無理なく指導出来た
- ・ 学生だけでなく後輩薬剤師への指導
- ・ 学生にたいして評価コメントする場合意識するようになった
- ・ 学生によっては褒めることをしないと極端に消極的になる場合があるようです。
- ・ 学生に指導する際の伝え方で役になった
- ・ 学生に接するとき心がけることが出来た。
- ・ 学生に木月を促すきっかけ作りであること。
- ・ 学生の指導、評価の際の考え方
- ・ 学生の指導に役立った。
- ・ 学生の指導やカウンター業務・薬局内での指導時。
- ・ 学生へのフィードバック時、PNPを用い行なう点。
- ・ 学生へのフィードバック方法
- ・ 学生への中間評価時に活用
- ・ 学生や従業員への注意点を一呼吸おいて冷静に考えることができるようになった
- ・ 学生を指導する場合のより良いコミュニケーションの手法として理解できた。
- ・ 学生以外にも新人教育の場で参考にさせていただいています
- ・ 学生指導 職場での新人教育。
- ・ 学生指導と人材育成
- ・ 学生指導の際には何度も活用した。
- ・ 学生指導の時に役立った。
- ・ 活用はしていないと思います
- ・ 教育の原点の1つでした。新人教育にも役立っています。
- ・ 業務評価で部下へのフィードバックの際役立っている
- ・ 繰り返しの学習。
- ・ 考え方を再確認できました。
- ・ 指導者の学生に対する高い意識が持てた
- ・ 自己研鑽
- ・ 自分の学生への接し方
- ・ 自分の働いている職場環境をフルに生かした実務実習をやるべきだと活動できた。
- ・ 自分の働いている職場環境をフルに生かした実務実習をやるべきだと活動できた。
- ・ 実行することによって、やる気を引き出せた。
- ・ 実際自分の薬局で部下の指導にPNPを使っている
- ・ 実習生とのコミュニケーション、人事考課
- ・ 実習生に具体的に良いところ、改善したほうが良いところを指摘できた。
- ・ 実習生のモチベーションを下げることなく進行できる
- ・ 実習生のやる気をおこすことができた。
- ・ 実習生のやる気を出させる。
- ・ 実習生の能力・体調を毎日見ながら問題点を解決→目標や時間割を変更しました。
- ・ 実習生への助言、評価の際に役立った。
- ・ 実習生への対応(形成的評価)で役に立った
- ・ 実習生への対応時
- ・ 実務実習で学生を目的まで導く為に必要
- ・ 実務実習での学生への指導に役に立った。
- ・ 実務実習でも行うようになったことと、大学で学生に指導する際にも行っている
- ・ 実務実習との会話がなくなった
- ・ 実務実習時の日誌で自己に対する反省点があまりにも強い学生に対して返信の日誌に positive な返答を記載した。
- ・ 実例をあげて印象づけることができた
- ・ 社員、学生への評価を伝えたり、指導する際
- ・ 社員教育
- ・ 社内新人や様々な学生実習時の指導の際にやる気をなくさずに改善すべき点を伝えられた
- ・ 新人教育
- ・ 新人教育
- ・ 新人教育に使えた。
- ・ 新人研修・実務実習・禁煙サポーターズ研修・禁煙教室
- ・ 新人研修時のNPNIによるフィードバック
- ・ 人との付き合いや 学生の学習意欲を高めるのに薬にたちました。
- ・ 人を説得したり、言いにくいことを伝えるときに有効だった。
- ・ 人材育成面で役立っている。
- ・ 生活の中の色々な場面で使用
- ・ 先にしておくことで、学生のモチベーションを下げることも無くてきた
- ・ 他の人に対しての心がけとして
- ・ 大変参考になった
- ・ 短期の実習ではあまり悪い事は言わなかったが、長期実習において悪い点を指摘する事も大事と思った。

- ・ 注意をするときにも利用しています。
- ・ 調剤過誤の結果を追求せずに基本に戻る指導
- ・ 店に相談においでる、お客さん。
- ・ 普段の仕事の中でも活用できる機会が多く後輩指導に大いに役立った。
- ・ 部下の育成
- ・ 褒めることで信頼感が築かれる
- ・ 未活用
- ・ 薬学生の実習指導と患者様の服薬指導
- ・ 営めるべき点はなるべく積極的に営めることで、次のステップに人を動かすことができるということを再確認したこと。
- ・ 落ち込み安い子供を素直に育てる
- ・ 理解を助けたり、深い気づきを与えたりと非常に役立っていたと思う。
- ・ 良い点から話し始めて、良い点で締めるようにするようになった
- ・ 良かった点に目を向けようという意識が共に良い方向に向かう近道かと思った

【記述 44】

- ・ 3. ワークショップに参加して
- ⑥ PNP (positive-negative-positive) によるフィードバックについて  
活用した業務・活動  
その他を選ばれた場合はその内容を枠内に直接お書き下さい。

- ・ OSCE、新人教育
- ・ OSCE、新人教育
- ・ OSCEの評価者
- ・ OSCEの評価者としての評価時
- ・ OSCE 評価
- ・ PNPになるべくのっとった実習となったと思う。結果は自分ではわからないが実習生の実習終了後の感想などから役立ったのだらうと感じた。
- ・ 飲み会
- ・ 該当なし
- ・ 覚えていません。
- ・ 学生指導
- ・ 活用していません。
- ・ 患者対応
- ・ 患者対応・服薬指導の際に活用している。
- ・ 子育て
- ・ 子育て
- ・ 事前学習
- ・ 上記と同様
- ・ 新入社員研修、社内勉強会
- ・ 全体的に。
- ・ 特に使用していません。
- ・ 日常生活
- ・ 部下育成
- ・ 役だったものは特にありません。

【記述 45】

- ・ 3. ワークショップに参加して
- ⑥ PNP (positive-negative-positive) によるフィードバックについて  
活用した業務・活動  
役に立った点が具体的にあれば、お書きください。

- ・ H23年度の実習生は過度の緊張からか積極的な発言があま

- りなかったが、これを続けていくことでだんだん自信がついたようだった。終盤にはかなり自発的に実習に取り組めるようになっていた。
- ・ OSCE の学生評価
- ・ PNP ができたわけではないが、できたことを褒めるよう心がけた。
- ・ P-N-Pで被評価者と客観的に評価できた
- ・ PNPを使用することで、相手のモチベーションを下げることなく伝えることができた
- ・ PNPを実践したことが、新人教育や実務実習において、やる気を引き出すことができた
- ・ がくせいへのフィードバック方法
- ・ このやり方については、薬剤師のみならず社会人としては当たり前の指導方法であると思います。しかし、最近の学生さんは、一度ネガティブになると、いろいろフォローしてもポジティブにならない事例もあり、苦慮しました
- ・ スタッフへの指導
- ・ ヒヤリハットを犯したときなど。
- ・ フィードバックというものに抵抗が薄れました
- ・ ほめることで、学生自身もモチベーションが向上したWS
- ・ ほめ言葉の間に、指摘事項をはさみこむ方法で、学生への指導を行うことが出来た。
- ・ ほめ言葉の間に、指摘事項をはさみこむ方法で、学生への指導を行うことが出来た。
- ・ まず、対象者の耳をこちらに向けて、あえてPから入ると、こちらの真意を汲んでもらいやすいことが、良くわかり、毎日助かっている。
- ・ モチベーションを高めるために活用
- ・ やる気が見られない学生に対して、ほめることを意識して、対応できました。
- ・ ロールプレイ・プロダクト発表時の合同討議
- ・ ロールプレイや患者に服薬指導した後の実習生に口頭で感想を述べる時
- ・ ロールプレイ後の討議で活用した。
- ・ わかっているもなかなか出来ないものです
- ・ 改善してほしい点をやわらかく伝えることで、学生に向上心が見られた。
- ・ 学生がリラックスして学習に専念できる。
- ・ 学生が現状で留まるのではなくステップアップしようという姿勢がみられた
- ・ 学生に改善した方がいいところを伝える時。
- ・ 学生のモチベーションをあげる事に有用だった
- ・ 学生のモチベーションを上げるためPNPを用いた。
- ・ 学生のやる気の維持ができ、スムーズに実習の進行が可能だった
- ・ 学生の指導を行う時に、精神的ストレスを与えにくい方法が身に付いた。
- ・ 学生の状態を見ながら実施出来た。
- ・ 学生へのフィードバックに活用した。
- ・ 学生への指導時
- ・ 学生への説明や解説をするときに
- ・ 学生への中間評価時に活用
- ・ 学生や、新入社員に対して常に PNP を意識して助言するようになった
- ・ 学生をほめて育てるということ、実際指導する際に意識してとりくむことができた。
- ・ 学生間で実力の開きがあったため、それぞれの良い点をまず認め、その後指摘すべき事項をお互いに考えさせた。
- ・ 学生指導と人材育成に活用するよう心掛けている
- ・ 学生指導のコメントを毎日書き込んだ。
- ・ 学生実習だけではなく部下の育成にも役に立った。
- ・ 学生実習はPNPを意識して指導を行った
- ・ 学生評価

- ・活用はしていないと思います
  - ・教えた内容を学生が曲解していないかを確認している。
  - ・教えるとき、ほめて指導すると人は伸びるのだと実感した。
  - ・繰り返してスキルを積んで行く途中ととらえ、学生に希望を持ってもらえる。
  - ・形成的評価を多用する実務実習においては有効であると感じた。
  - ・厳しすぎず、甘やかしすぎずの実習ができた。
  - ・後輩薬剤師へ
  - ・散剤調剤、服薬指導
  - ・指導していく上で、PNPによるフィードバックを行なっている。
  - ・指導薬剤師 & 薬剤師 (情報管理者) としての意識レベル維持のため
  - ・自己の持つ薬剤師会の委員会運営 (広報) に役立った。
  - ・実際に学生に対する際、気をつけています
  - ・実際の業務においても大切さが分かり、実践した。
  - ・実際の指導にて活用。
  - ・実際の薬局自習全般で活用。
  - ・実習の振り返りやレポート評価時に役立った。
  - ・実習生だけでなく、従業員への指導全般に使えと感じた
  - ・実習生との面談、部下との面談
  - ・実習生に指導する際に、常に心掛けています。
  - ・実習生に対して、この方法を活用している
  - ・実習生のモチベーションを保つ為に、評価・フィードバックのバランス・タイミングなどが大切だと感じました。
  - ・実習生のやる気をひきだせている
  - ・実習生の指導
  - ・実習生の指導、評価に役立った。
  - ・実習生の実習意欲の向上に役立った
  - ・実習生の到達目標チェックのフィードバックにおいて日々活用できた
  - ・実習生の日誌に返信するときに、PNPを考えながら返信を行った。
  - ・実習生への指導に使えた。
  - ・実習生への対応
  - ・実習中なるべくPNPによるフィードバックを心がけました
  - ・実習中の評価において、やる気をだしてもらえよう心がけています。
  - ・実務実習でのカウンター実習の技能が苦手な学生には、PNPでのフィードバックに知識でP、技能でN、また知識でPと利用した
  - ・実務実習での学生への指導に活用。
  - ・若い世代は打たれ弱い (個人的な意見) 方が多い中、この方法は学生を指導するのに自分自身に役立ちました。
  - ・若手スタッフの人材育成
  - ・手順書の見直し作成に役に立ちました。
  - ・受講の順が逆になってしまい、実習生に対しては実行できていませんが、受講時に指導して下さる方々が PNP のスタンスでアドバイスしてくださっているのがよくわかり、モチベーションを下げることなく、アドバイスを受け入れることができることを体験しました。現在、職場での指導に取り入れています。
  - ・従業員とのコミュニケーションが円滑になった
  - ・従業員や患者さんと接するときの話術として
  - ・出来なかった所の批判ばかりでなく、良い所を誉めて、学生のやる気を引き出す。
  - ・常に、学生の長所に目がいくようになりました。
  - ・職員のヤル気を損ねずに問題に対応できた。
  - ・新人指導に活かしている
  - ・新入職員の指導等あらゆる場面で活用できる
  - ・接客の苦手な実習生には、接客の場を多くしよかったところは、ほめる。自信をつける。
  - ・大学の先生との意見交換ができ、実習生のモチベーションを上げることができた
  - ・注意するだけではなく、改善した部分があればしっかり評価するようにしました。
  - ・聴く・質問する・伝えるのコーチング技法
  - ・同じ間違いを起こさない為の繰り返し実践
  - ・特に考えなかった。
  - ・内容を納得し、受け入れてもらいやすい指導ができる。
  - ・日誌へのコメントを、極力PNPに則って記述するように心掛けた。
  - ・日々の行動に取り入れ、学生や勤務薬剤師の指導に活用した。
  - ・日報へのコメント 実習生のモチベーションを引き上げる
  - ・能力を伸ばしたいときに使用
  - ・漠然としている他との比較、人間の尊厳を欠く行為は好ましくないと実感した。
  - ・反省会で活用した
  - ・否定ばかりでは、業務がスムーズにならないことがあり、とても役立った。
  - ・評価において、頭から否定することなく、学生と良好な関係が築けた。
  - ・部下への指導に活用しています。
  - ・服薬指導
  - ・服薬指導時のロールプレイの際の助言で活用した。
  - ・褒めたり、欠点をあげたり、またやる気を起こさせる実習はまさにその繰り返しでした
  - ・毎日の実習終了時のコメントに活用した。
  - ・毎日の実習日報に対するコメントに利用 (学生より: 必ず1つ以上良いところを見つけてもらっていたので、続けられた。との感想をいただいた。)
  - ・毎日有意義に実習が終わることができる。
  - ・未活用
  - ・模擬投薬や実践投薬時にしばしばPNPを活用。
  - ・問題点を指摘し、その問題点を学生にフィードバックさせそれに気づきように促し学習効果を高めることができた
  - ・役に立ったというよりは、そういう方法でやるのかと認識できた。
  - ・薬学生の実習指導時や患者様の服薬指導時、従業員の職務評価や指導時の会話時に活用した
  - ・誉めるべき点はなるべく積極的に誉めることで、次のステップに人を動かすことができるということを再確認したこと。
  - ・良い点から話し始めて、良い点で締めるようにするようになった。
  - ・良い点は必ずある。まずPを探す。
  - ・冷静に状況を知ることができる。
- 【記述 46】
4. ワークショップ全体について
- (2) ワークショップに参加して有意義だったと思われる点は何ですか (複数回答可)。
- その他
- 1度ワークショップに参加しただけでは、なかなか理解できないことが多いと思います。タスクとして何回も WS を経験してはじめて、解ったような気がします。
  - ・6年生が今後どのような方向に向かうのか理解できた
  - ・いろいろな薬剤師が指導するうえで考えがある程度統一できると思った。
  - ・グループ討議などいつもと違う考え方を教わった
  - ・コアカリーに従い、漏れなく全コマを遂行したこと
  - ・タスクフォースの姿がすばらしかった
  - ・テーマが「チーム医療」だったので、病院薬剤師の業務について知らないことばかりで、多くのことを教えていただき、それが学生実習にも役立ちました。

- ・とても刺激を受けました。
- ・とにかく薬剤師の今後の方向性に重要な時期である事と体感できました。
- ・はじめてのことばかりで、いい刺激になりました。
- ・レベルの低いことがよくわかった
- ・意識が座学のみとは比較にならないほど高まった。人の繋がりが出来た。
- ・印つけてないのは日頃から色々な人と交流があるのでここでの以上の情報を交換しているからつけていない ワークショップに参加して知識も人間性もまだまだ至らないの薬剤師ですが、それでも薬剤師の未来に不安を覚えました。
- ・皆と考え、解決していく事の大変さと素晴らしさが体験でき、自分の為にもなった。
- ・学生が私たちの時代では社会人 1 年生と同じだと考え、新入薬剤師の業務と同レベルのことを出来るという認識を持てたこと
- ・学生を受け入れる「覚悟」ができた。
- ・学生を受け入れるにあたり、可能な限り均一化した実習を提供すべきだと思う
- ・共に育つという観点が、WSを通して伝わってきた。
- ・教育という面では完全な素人だったので自身の意識改革になった。
- ・教育者の目線を知ることができた。他者の行動に対するアプローチの方法が変わった。
- ・形成的評価の重要性
- ・現状における薬剤師、薬学教育の問題点を日頃から考えるきっかけとなった。
- ・現状を把握できて良い刺激と緊張感を得られたこと。
- ・後輩を育てていこう！という心意気を共有できた。
- ・参加型研修の有効性が分かった。
- ・参加者とのディスカッションのみならず 交流で実務実習受け入れへのモチベーションが高まった
- ・自分も共に成長できた。
- ・自分自身のモチベーションが高まった。
- ・自分自身心構えができた。
- ・実務実習を通して、他の医療職種との業務の共有化について理解が進むと思える
- ・小生の場合、他の職場の薬剤師との情報交換が最も有意義だった
- ・世代間・職業を交えてのディスカッションや情報交換ができた事。
- ・専門用語は、わかりませんが今後の薬剤師のために何か役に立ちたいと思うようになりました。
- ・全ての作業において、目標作成によりアクションを起こす事で達成度が分かり易くなり、次の目標を立て易くなった。根本的な課題が分からない時、課題の優先順位が分からない時等、KJ 法的手法により解決し易くなった。
- ・全体的内容は難しくうまく理解できたとはいえないが、学生とともに学び自分自身が成長することへの大切さを自分なりに学べたことが私自身の大きな収穫でした。
- ・他の職場(病院、薬局)の実務実習の受け入れの現状を知ることができた。
- ・他薬局、他職種の方と情報交換することで、実務実習へのモチベーションが上がった。
- ・調剤薬局勤務薬剤師は狭い世界なので刺激になった
- ・得意不得意があると思うが、全ての人が参加するシステムはその人の隠れた才能を引き出すことにも繋がると思う。
- ・判り切った内容を難しく文書にしているだけで、わかりきったことの再確認だけでWS自身あまり意味がなかった。
- ・不安という感情の共有により、不安が希望に変化したこと
- ・報告書の記録システム等の理解に役立った。
- ・薬剤師としての自分を見つめなおし意識を高めることができた
- ・薬剤師になって一番のカルチャーショックだった。

- ・薬剤師免許を取得していない学生が、実務実習に出ることがわかった。
- ・様々な意見・施設での取り組みについて意見交換ができたこと。
- ・様々な現場で働く薬剤師と直接意見交換や話ができてよかったです。

【記述 47】

4. ワークショップ全体について

(3) ワークショップに参加して、改善すべき点、期待はずれだったこと、こんなことをやって欲しかった、こんな情報が欲しかったなど、自由にご意見をお書き下さい。

改善すべき点

- ・現場において、何を、どの様に、どの程度教えるか、の学習が必要。
- ・「教育」の全体像を掴むのには役に立ったが、具体的な実務実習の参考には直接的にはならなかったところ。
- ・1 回では理解は無理かもしれません
- ・1 日の拘束時間が長いので、1 日あたりの時間を短くしてほしい。近いところで行ってほしい。
- ・1 日目の講習後の印象記の提出は必要ないのではないかと時間的にきつい。
- ・2 日間じっくりとスケジュールが詰まっており、課題の提出期限も早かったので大変でした。
- ・2 日間だとかなり負担に感じるので1日に凝縮した方が受講する人も増えると思われる。
- ・2 日間では かなり濃厚であった。あと1日余裕がほしかった。
- ・2 日間で行うにはややボリュームが多いように感じました。
- ・2 日間という連日での研修の為に日程調整が難しかった。また、1日の拘束時間が長い。
- ・2 日間の短期間で行うには内容が多いと思った。勤務していると時間がとりにくいのであるがせめて3日に分けてほしい。
- ・2 日間は長いと感じた。
- ・2 日間も閉鎖的に、時間的にも詰め込み過ぎで、異様な感じがした。
- ・2 日間を1日減らした方がいいと思います。
- ・2 日間開催→1日で終わらせる方が望ましい
- ・2 日間連続の短期集中の実施による時間的な拘束
- ・2 日目は半日くらいがよかった
- ・2 日連続は仕事上大変だった
- ・3 日以上日程で、更に濃密なワークショップを行うと良い
- ・KJ法(単一職種で実施すると、考え方が一定になり、枠の中で思考が統一されるから)
- ・KJ 法にかかる時間が長く感じた。
- ・LS,GIO, SBOs, KJ 法等の難しい用語が多すぎる
- ・PC・Webの使い方、生かし方も聞きたかった。(WS以外での項目以外でも分かりにくかった)
- ・PC・Webの使い方、生かし方も聞きたかった。(WS以外での項目以外でも分かりにくかった)
- ・SBOsは既にきまっているのに SBOsの作り方、考え方を聞いてもしょうがないと思いました。言葉が難しい教育用語をそのまま使われてもピンと来ない。
- ・SGD が多すぎる。
- ・SGDの進行はタスクホースがやった方がいい
- ・SGDの前の示説をもっと時間を長く、詳しくして欲しい。
- ・SGD 等の際、露骨に非協力的な年配薬剤師、大学職員がいた。
- ・W.S.はとまりですべき。
- ・WS で取り上げた個別のテーマを、現場での実習において活用する具体例を紹介すると、解りやすくイメージしやすいのではないかと?

- ・ WSの内容を少しでも把握して参加したほうが時間の短縮になると思われる。
- ・ WSを受けたことを実務実習に活かす例をあげほしい
- ・ WS 参加を希望してもなかなか参加できない点(開催回数が少ない)
- ・ WS 参加時に色々問題点が出ましたが、どのように改善されて行くかが分からなかった。
- ・ あのプログラムでは、意識、意欲の低い人ほど そこで出会ったメンバーしだいで 悪い結果になってしまう事はないか？
- ・ あまりにスケジュールがタイトなため、本来の目的が何かを考えることより、時間内に作業としてこなすことになったように思います。
- ・ あまりに形式的で、実際の実務実習ではあまり役にたちませんでした。むしろ、以前受けた教育実習の内容のほうが役に立ちました。
- ・ ある程度の資料は事前にいただき良かった。
- ・ あれだけの内容を理解するには2日間では短すぎる。
- ・ いい経験になったけれど、実務実習に役立つことは、なかった。もっと具体的なテーマがよいと思います。
- ・ お作法はよくわかるが・・・もう少し、柔軟な考えもあってもよいかも。プロダクトもある方向性に結果的には持って行っている気がする。
- ・ カタカナが多い
- ・ カリキュラムが押し過ぎる。懇親会を止めてカリキュラムに余裕を持たせると良い。意見交換が活発なことで時間を要するのは構わないが、それ以外は時間厳守で進行して欲しい。時間を守る姿勢も指導者には必要であると思われる。
- ・ カリキュラムのボリュームが多く、忙しい
- ・ カリキュラムの説明、学習に時間をかけ過ぎ。実習の時は日業のモデルをベースに指導した人がほとんどだと思います。あれだけ時間とお金をかけても無駄の様な気がします。
- ・ カリキュラムは、もう立てられているので、実習においてはそれを組み立てることについては、必要ないので、現在のワークショップは、的外れだと思う。それより、教育的な指導方法について具体的に学んだ方がいいのではないか。
- ・ カリキュラムプランニングについては、同じ職種で実施すべき。
- ・ カリキュラムプランニングは重要だが、それに時間をかけすぎている。
- ・ グループディスカッションの時間が短かった
- ・ グループによっては活発に意見の出るグループと、あまり意見の出ないグループがあるように思えた。人選は無作為に選ばれるので仕方ないといえばそれまでだが。
- ・ グループによって差があると感じた。もっと具体的に活かせるような内容にするべき。
- ・ グループによって進行具合が違いが大きかったような気がする。タスクの方を1人中に入れてみては？
- ・ グループメンバーが決まっているので、他チームとの意見交換の機会が少ない
- ・ グループ分けが年齢が偏っていた。
- ・ グループ分けを病院薬剤師、薬局薬剤師に分ける。
- ・ こういう問題があったという問題事例
- ・ コンセンサスゲームは色々な場面(砂漠・月)をかえないと経験した人が出てきてしまう
- ・ コンセンサスゲームを後何題かほしいとおもいます。例えば遭難して絶海の孤島に漂着したとか。
- ・ スケジュール
- ・ スケジュールがタイト(休み時間が短い)なところがしんどかったです。
- ・ スケジュールがタイト。もっと余裕が欲しい。
- ・ スケジュールがタイトすぎる
- ・ スケジュールがタイトすぎる
- ・ スケジュールがタイトすぎるので、ワークショップの内容と時間設定の再検討をしたほうが良いと思う
- ・ スケジュールがタイトで余裕がない。
- ・ スケジュールがハードすぎる
- ・ スケジュールがハードだったので、移動時間も考慮してゆとりのあるスケジュールを組んでほしかった
- ・ スケジュールが過密。課題の意味すら分からず、ただ時間に追われて作業をした事しか思い出せない。
- ・ スケジュールが過密すぎた。
- ・ スケジュールが過密すぎる。(昼食の時間も午前のスケジュールがおして犠牲になった)
- ・ スケジュールが過密だった。最終日、駅に着く時間もギリギリで、電車を待たせる事態になった。
- ・ スケジュールが過密で、そのせいか全ての項目がテンポが速い、すばやく考えるものと熟考する項目などあってもいい
- ・ スケジュールが密すぎてよくわからなかった
- ・ スケジュール過密すぎて話し合いが中途半端に終わることがあった。話し合いの方法や内容を再検討した方がよいと思う。
- ・ スケジュール過密すぎる。
- ・ スケジュール関係
- ・ スケジュール的にきつかった。
- ・ スタッフの人選を考えて下さい。
- ・ すでに所得した者の教育者としての教育活動を継続して行っていて欲しい。2年3年もすると記憶が薄れていきます。教育者への教育を実施してほしい
- ・ スモールグループディスカッションでも回答がまとまりそうもない時の対応。また時間がきっちりしていた点は良い点だが、途中から複雑になった印象があったので、フォローの時間が増えると思うが、講義の時間が増やしたら退屈に感じてしまうかもしれないので、別の方法でのフォローがあればよりよいと思う。
- ・ スモールグループディスカッションの前にグループのメンバーと打ち解ける時間があれば、ディスカッションに入りやすかったと思います。
- ・ スモールグループディスカッションをするときにはブレインストーミングを取り入れるべきである
- ・ タイムスケジュールがタイト過ぎる。2日間で行うには内容が多すぎるのかも。
- ・ タイムスケジュールが厳しかった。
- ・ タイムスケジュールに少しはゆとりを持たせて欲しい。
- ・ タスクによって考え方の相違があった
- ・ タスクフォースの質の均一化
- ・ ディスカッションの会場移動に時間がかかった。
- ・ ディスカッションの時間が足りなかった。
- ・ ディスカッションの時間配分。
- ・ テーマが抽象的すぎて実際の業務、実習へは役に立たない。
- ・ テーマの選択
- ・ できれば、1日で完了して欲しい
- ・ どういう意識で参加したらよいのか、わからない状態だったので学習すべきことを理解するまでに少し時間が必要だったので、指導薬剤師としてこれから学生を指導するに当たってのワークショップですと最初に講義みたいなものがあると臨みやすかったように思う。
- ・ なかなか参加できない(定員が少ない)
- ・ ハードすぎて、一つ一つに対して理解不十分
- ・ はじめにどうゆう事をするのか分からなかったのが不安でした。事前にわかっているのもいいのですが、参加してみて事前に知らなくて返って良かったと思いました。
- ・ はじめはわかりにくかった。導入が難しいと思う
- ・ ひとつひとつのセッションの時間が短く十分な討議ができない。
- ・ ひとり薬剤師の薬局でも参加しやすい日程を多く取り入れて欲しい。
- ・ ファロー研修の必要性
- ・ フォーマットとしては必要だが、現実とはかけ離れているので



- は？
- ・プランニングなどより問題点の対応などの時間をもっととった方がよいと思う
  - ・プランニングは出来上がってたので概念的でなく、もっと具体的に薬局内での実習内容をやって欲しいと思いました。
  - ・プランニングよりも実習内容、実習の進め方について、もう少し具体的な内容を盛り込んだらどうでしょうか。
  - ・プロダクトが正解ありきのところ、プロダクトはもっと自由でいいのでは？と思いました。
  - ・まるまる2日間、一施設内で拘束されること。
  - ・まるまる2日間、朝早くから夜までの過密スケジュールだったのでもう少し時間に余裕を持たせてほしい
  - ・めまぐるしく進行し目的が明確に認識できなかった
  - ・メモをもう少し取らせてほしい
  - ・もう少し意外性を感じる結果を出すことを感じられる内容
  - ・もう少し、と言う時に時間が切られて中途半端で終わったこと。
  - ・もう少し、時間的余裕が欲しかったです。
  - ・もう少しスケジュールにゆとりが欲しかったが、業務の合間にうけるものなので、限界か？
  - ・もう少しより積極的に発言をするべきだった。
  - ・もう少しわかりやすい表現による講義が必要。聞いたことのない言葉が多かった。
  - ・もう少し一日のスケジュールに余裕が欲しかった。
  - ・もう少し時間にゆとりが欲しい。
  - ・もう少し時間に余裕が欲しかった
  - ・もう少し時間に余裕を持って、行なってほしい。
  - ・もう少し時間の短縮をお願いします。
  - ・もう少し時間を取ってほしい。
  - ・もう少し実務実習に近い内容であってほしい。
  - ・もう少し短時間で簡潔にできないものでしょうか。
  - ・もう少し日程に余裕が欲しかった。
  - ・もう少し勉強会そのものを、的をしぼって単純化したほうがよい。
  - ・モチベーションの低い参加者は排除すべき
  - ・もっと回数を増やしてほしい。
  - ・もっと具体的な実習の進め方を教えて欲しい。DVD、資料など実際に使う物を下さい。
  - ・もっと具体的な実習内容の研修
  - ・もっと具体的に学生実習がイメージできる内容のほうがよかったです
  - ・もっと時間をかけてゆっくりやって欲しい。
  - ・もっと実地に沿った実用的な内容を盛り込んで欲しい。
  - ・ユニットによっては、時間内に議論を終わらせるには難しいものもある。
  - ・より実践に即した内容であってほしい。
  - ・レポートを提出しなければいけないので講演のレジュメが欲しかった
  - ・ワークショップで勉強したことが実際の実習のどういう場面に役立つのかの説明がない
  - ・ワークショップで薬学性実務実習指導の手引など実際の物を使用した方が、思考がリンクすると思います。
  - ・ワークショップというものが実務実習に必要なかどうか
  - ・ワークショップと同様の内容を現場で行うのは難しい。
  - ・ワークショップになかなか参加できませんでした。希望している薬剤師の数に比べ、ワークショップの回数や参加可能人数が少ないのではないかと思います。私は参加できるまで2年以上かかりました。
  - ・ワークショップに対しての事前の情報が全くないまま受講したため、当初、何のための集まりなのか分からなかった。ワークショップの意義・目的・内容等、前もって資料を送付するなどして、予習してから参加すべきではないか。
  - ・ワークショップに費やす時間が2日間は多すぎる。1日でも十分だと思います。
  - ・ワークショップの意見を聞くタイミングが遅すぎるように思う。
  - ・ワークショップの形式にこだわりすぎていて、そのやり方に終始していたため、実務実習指導薬剤師の養成と銘打っている意味が伝わってこないこと。
  - ・ワークショップの内容が全く知らされていなかったこと、情報があればもっと有意義だったかもしれない。
  - ・ワークショップの内容を事前に公表する。内容を認識して参加する事で研修の目的に対する認識を明白化させる
  - ・ワークショップの日程が時間的に、体力的にきつい
  - ・ワークショップは他の講習会を終了してから受講したほうが、理解度が高まると思った
  - ・ワークショップを受講しても教育に対して理解のない方が多い。
  - ・ワークショップ待ちの薬剤師が複数いるが、開催地域に偏りがありなかなか遠方まで行って参加が難しい。
  - ・ワークショップ当日に懇親会があるのに、翌日までの宿題は大変!!
  - ・ワークショップ内容が、わかれば議論がもう少し盛り上がりと思えます
  - ・ワークショップ自体の短時間の詰め込みの改善をお願いしたい。
  - ・わかりやすい説明。内容。
  - ・圧倒的に研修時間が短い
  - ・医療従事者としての薬剤師の置かれている立場や現状問題点とそれらの改善活動について
  - ・一人一人が指導者として主役になってグループをまとめていけるような教育
  - ・一度きりのことであり、参加後は意識は高まるが、その後は勉強会などもなく、意識は下がってしまう。また、今回のアンケートの内容を答えるのも、ほとんど忘れていて、配布資料を出してきてどのことか？と調べながら答えた。
  - ・一日の拘束時間が長く、少し大変だったのでその点。
  - ・一日の拘束時間が長すぎる。短時間で詰め込むような形式なので過酷であった。
  - ・一日の拘束時間が長過ぎる。もっと効率よくやっていただきたい。
  - ・一泊二日じゃないとこなせないでしょうか？時間配分をうまくしてほしい
  - ・一番初めに受付を済まし、輪になって待つことが気づまりだった、
  - ・演習のプレとポストで正答率が上がらなかった設問は、その原因分析と変更の要否を検討する必要があると思う。
  - ・何の予習もなく、突然多くの専門語で、しかも早いテンポで進むので、何が何だか解らないうちに終わった。
  - ・何もわからずワークショップをうけるので1回では不十分ではないかと思えます。アドバンスWSが必要ではないでしょうか。
  - ・何をしてくるか理解するのに時間がかかる いろんな立場の人で話がまとまらない
  - ・何をしてくるか全くわからず、準備するのに悩んだ。
  - ・何をを行うかを事前に伝えるべき。形成的評価にしても薬局では十分に行えないと思う。
  - ・何故この形式が必要なのかを初めの説明でもう少し欲しかった。
  - ・家庭を持った方に参加しづらいので、日程の調整は必要だと思います。
  - ・課題が抽象的で、範囲が広いので、何を話し合えばいいのか？つかむまでに時間がかかること。
  - ・会場への交通アクセスに難があり、参加の負担が大きかった。
  - ・回数が少ない
  - ・回数を増やして多くの人が指導薬剤師になれるようにして欲しい。
  - ・開催が少なく、出席したくても出来ない職員がいる。

- ・開催回数が少ない
- ・開催回数を増やして指導薬剤師の数を増やせるとよいですね。
- ・開催地が遠隔地だと2日間の参加が困難。
- ・開催方法(申込方法)
- ・各セッションごとに発表者、書記、司会などを決めましたが同じ役を複数回やるべきではない。必ず別の人物を割り当てること。他人任せになり緊張感が保てない。
- ・各テーマの進行が早く、ついていくのがやっとだったので、もう少し時間に余裕を持って勉強したかった。
- ・各単元が時間が短すぎた
- ・学習が継続的でない。
- ・学習方略、意味がよくわからない 実務実習への活かし方
- ・間が少なかったこともあり残念ながら内容の理解にいたらず、有意義感が感じられなかった
- ・丸2日で長すぎるので、もう少し時間を短くしてほしい。
- ・丸2日間は身体的にも精神的にも疲れた。
- ・基本的教育用語がしっくり来なかった
- ・詰め込みすぎで体力的にしんどかった(日常業務をこなして家事をしている主婦には日程が辛かった)
- ・詰め込み過ぎの感があり、もう少しゆとりある時間割だと助かる
- ・休憩時間が短い
- ・休日を利用しての参加だったため、実質2週間休みなし(体調に影響があった)
- ・教えるタスクフォースにより教え方が異なる可能性がある。(現在の状況は分からないが、その当時はそのように感じた)
- ・教育、指導の考え方を学んだが、迫りくる実習の準備を具体的に教えて欲しかった。焦りと不安がないように。
- ・教育学の側面が強いが、薬剤師個々の能力の乖離という問題点について一切触れておらず横並びであったこと
- ・教育的なことを習ったがあまり必要ではないように思えた
- ・教育者育成の視点が強いので、実際の実務実習での実習の行い方などがあれば助かったです。
- ・教育総論に時間を取りすぎ、現場重視の内容に
- ・教育的専門用語が多く理解しにくい。薬学教育の年代の差があり、理解しにくい点が多かったので分かりやすくお願いしたい。
- ・教育論だけではなく具体的にSBOsを満たす方法を教えていただきたい。
- ・具体的に実務実習にそった内容ですすめる方がいい
- ・具体的例を多く上げて考えさせるべき。
- ・継続して経験を積んでいかないと身につかない。
- ・研修期間の週末2日間という日程。
- ・研修終了直前に聞いた講演(このワークショップがなぜ重要か)を会の初めに聞いていればもっと前向きに研修できたと思う
- ・研修内容の定着を目的としていないので、到達目標をはっきりさせてほしい。
- ・現在はどうか分かりませんが、22年度はWSに参加申し込みをしてもなかなか人数制限でなかなか参加しにくかった
- ・現場に沿った内容にすべき。
- ・言葉が難しく最初は理解が遅れるので、もう少し分かりやすい言葉にしてほしい。
- ・言葉の定義をきちんと理解する
- ・言葉略号をまず覚えることが大変だった
- ・個人的な考えです。現場の薬剤師は教育者ではないので、どのように指導したら良いかを試行錯誤していると思う。(少なくとも私はそうでした。) 今までのワークショップはあまりにも大まかで内容がわかりづらかったような気がします
- ・交流会の後の、レポート提出ではなくカリキュラムのスケジュール内での作成にして頂きたかった。
- ・拘束時間が長い
- ・拘束時間が長い点
- ・拘束時間が長く、業務に支障があった。
- ・拘束時間が長すぎる
- ・拘束時間が長すぎる。
- ・拘束時間が長すぎる。
- ・拘束時間が長すぎる。
- ・拘束時間が長すぎる。開催が少ない。
- ・考える内容が多く時間が検討する足りなかったので、時間に余裕をもってプログラムを作成してほしい。
- ・考え方の、講義ばかり?
- ・行うことが多すぎて慌ただしかったこと
- ・行うことの説明がもっとほしい
- ・行うべきことが多いので時間が足りないと感じました。
- ・講義形式をもう少し小さな単位ですべき
- ・項目が多い点。言葉がちよっとでは理解できない点があった。
- ・今さらな議題が多かった
- ・今後は6年制の学生を受け入れ経験を生かした実例を含めた実践型の研修の時間も取り入れてもらいたい。
- ・最後のレポート提出ですが、指定された箇所によって難易差がものすごくあると感じました。
- ・最終のWSは講演など多すぎて考える時間が少なかった。
- ・最初にもっとグループ内の交流が図れたら良い
- ・最初に目的が不明だった
- ・作業の内容を理解するのに時間を費やしてしまうため作業時間が短くなる。事前の課題提供の方法を改善する。
- ・参加される薬剤師の技術も勤務する薬局の規模もまちまちなので、自分の技量や薬局の規模に見合う最低ラインのカリキュラムプランニング作成法を徹底的に演習して貰いたい。
- ・参加したときに実際こなさなければいけないSBOがわからなかったもので、今後は教えて欲しい。
- ・参加した最初に、目標がいまいち分からなかった
- ・参加した薬剤師の中に、ワークショップの意義が理解されていない方がいたよさだと感じられたこと。その点では、薬剤師の意識を高めることに、フィードバックがなされていなかったと感じる。
- ・参加すること自体が大きな負担だった。
- ・参加する側が参加前にもう少し具体的に準備しておくべきだった。
- ・参加すれば全て終了とみなされる点。
- ・参加できる機会が少ない
- ・参加型研修として、1度きりで終わらないでもう一度やってもいいと思う。きついと思うが。
- ・参加者が薬局薬剤師が多く、偏りが大きかったように思う。大学職員や病院薬剤師にももっと参加して欲しい。
- ・参加者のレベルを揃えることが必要(WSに参加するレベルに達していない人がいる)
- ・参加者の意識レベルにバラツキがひどい
- ・参加者への動機付け(作業の目的が明示されていないので、戸惑う)・中途半端なQC手法の利用
- ・参加当時はワークショップの開催頻度は高かったが、現在の開催頻度が少ないのが残念である
- ・仕事をもっているものにとって2日間拘束されるのはきびしい。
- ・思い浮かびません。
- ・指導を行なう上で、もっと役立つ内容(具体的な指導方法)にして欲しい。
- ・指導薬剤師が管理薬剤師しかねないところ。
- ・指導薬剤師のレベルと受け入れ施設環境の整備(実証経験済の学生からの声を反映)
- ・指導薬剤師を養成をするというよりは、実績として何らかのワークを行った、という状況に思われた。指導者としての能力の認定をするようなことが必要と思われた。
- ・指導薬剤師像をもっとわかりやすく明確に提示した方が良い。
- ・私たち薬剤師は、教育者としての教育を受けておりません。そ

の分野についての研修があってもよいかと思う。

- ・私の、理解が悪いのでしょうか、ワークショップを、学生実習に生かされてなかったと、現在おもっています。環境の違う中で、どのように生かすのか、最初に理解できたらもう少し実習に使えたかなと、思いました。
- ・私の場合実際に受け入れるまで4年程経ってしまい、良いところも生かせない気がします。受講時期も考慮して欲しいと思います。
- ・私は、初期のワークショップに参加しましたが、その頃と、現在では参加者のレベルも下がり、ディスカッション内容が、活発ではなくなった。
- ・私は実務実習が実際に始まる前に参加したので学生を教育するとはどういうことなのか具体的な考えが頭にない状態だったので、秒単位のスケジュールをこなすことで精いっぱいになんかよくわからなかった。
- ・事前に 実務の内容の形態の情報をもっと 説明して欲しかった。
- ・事前に、どのような内容の研修かを知りたかった。そうすることでもう少し深く学ぶことが出来たと思う。
- ・事前にある程度内容がわかっていたほうが、吸収しやすかったような気がします。
- ・事前に情報提供してほしい。
- ・事前に予習をしたかったので、予め内容を知っておきたかった。
- ・事前の内容を明らかにして参加したほうがいいのでは
- ・事例をあげての対処が必要ではなかったでしょうか？
- ・時間がかかりすぎる。せめて1日で終わりにして2回行うとか、業務に支障のない日程にしてもらいたかった
- ・時間がきつい スケジュールに追われた
- ・時間がすべてあわただしかった。
- ・時間がタイトすぎる。テーマによっては、まとまらないことが、多々あった。
- ・時間がない中でやる事が多く、考える中でも常に時間に追われている状況だった。
- ・時間がない中で仕方ない部分がありますが、もう少し時間に余裕をもってスケジュールを組んでもらえるとありがたかったです。
- ・時間がなく集中して行うには、ちょっとハードだった
- ・時間が詰め込みである
- ・時間が取れない
- ・時間が少ない
- ・時間が少ない、懇親会は初日の方がグループの親睦の為に有効と思えた。(時間・日的に難しいとは理解してます)
- ・時間が少なく、目の前の言われたことをこなすので精一杯でした。先に資料を渡していただきある程度把握して臨みたかった。
- ・時間が少なすぎる、もっと他職種(大学や病薬の先生)と交流したかった。
- ・時間が足りなかった
- ・時間が足りなかった
- ・時間が短い
- ・時間が長い。
- ・時間が長く、講習場所が遠い
- ・時間が長く休み時間が少なく、会場に通うのが大変でした。
- ・時間が長すぎた
- ・時間が長すぎる
- ・時間が長すぎる(2日間拘束は施設の勤務体系上参加不可能な方もいるのでは)
- ・時間が長すぎる。一日の研修でよいのでは？
- ・時間にゆとりがなかった。
- ・時間にゆとりがなさすぎる
- ・時間にゆとりがほしい
- ・時間に追われ、内容があまり印象に残らなかった。時間と内容

の検討が必要だと思う。

- ・時間に追われ、理解途中で次に進んでしまうので、時間的余裕があると良かった。
- ・時間に追われたこと
- ・時間に追われて、頭の整理が出来ないまま、次々と進んで困惑した
- ・時間に追われて 2 日間が終わった もう少し項目を減らしてもいいので時間をかけて取り組みたかった
- ・時間に追われている感じてた。
- ・時間に追われて受講内容の整理が追いつかなかった
- ・時間に追われる感じ。内容を絞って欲しい。
- ・時間に余裕がないのが大変
- ・時間に余裕をもって進めてほしかった。
- ・時間の割り振り
- ・時間の再構築。2日間で取得できるような内容ではないと思う。詰め込みすぎ。SGDの時間が足りなさすぎだと思う。
- ・時間を取られすぎる、ワークショップの内容を養成講座に少し移管できないのでしょうか、養成講座の内容事態が充実していない
- ・時間を短縮して欲しい
- ・時間割
- ・時間割がタイトで大変でした。
- ・時間制限が短すぎて、意見がまとまらない
- ・時間的な余裕が欲しかった
- ・時間的にもう少し余裕があれば、さらに深く考えられたと思います。ワークショップの内容は予め知られていませんが、効率的に行うためには予習できる項目もあるのでは、と思います。
- ・時間的にもう少し余裕がほしかった。
- ・時間的にゆとりがほしい
- ・時間的に拘束時間が長すぎる割に、実践で使えるようなことが多くない。
- ・時間的に非常にタイトな事
- ・時間的制約のなか難しいが、1回だけのワークショップでは理解できないし、身につかない
- ・時間的余裕
- ・時間内にまとめるのが重要なのは分かりますが、スケジュールがハードでした。
- ・自局達成のみを訴えず。薬局製材の許可を取っていない薬局が薬局製剤を語るなど言う県薬役員の発言
- ・自分が指導できるという自信がつくような内容にしてほしい
- ・自分と同じ内容のユニットを担当した、他のグループとの意見交換の時間がもう少しあれば…と思った。
- ・質の高い実務実習を継続させるために、各施設、複数の指導薬剤師以外の薬剤師への教育指導体制を構築
- ・実際にどのように指導し評価していけばいいかをもっと詳しく行って欲しい。
- ・実際にワークショップで得られた意見交換、成果を実行できるようなその後の整備が必要。
- ・実際に受け入れをする施設を対象におこなうべき
- ・実際の指導薬剤師向けのマニュアルに基づいての実習方法とかを研修した方が良いと思う。
- ・実際の実習カリキュラムを作成・実施する際に役立つものにして欲しい
- ・実際の実習に即していない。
- ・実際の実習に必要な事柄を取り上げる
- ・実際の実務実習の現実とは離れている気がする
- ・実際の評価の基準がはっきりしない
- ・実際の薬局においての指導に関して、もう少し細かく具体的な説明が欲しいと思いました。
- ・実施しなければいけないプログラムの多さ
- ・実施期間が限られているとは思いますが、長時間の講習になるため、集中力が続かない。

- ・ 実習カリキュラムの説明をもう少し詳しく。
- ・ 実習に直接つなげる方法をもっと考えるべき。
- ・ 実習を行うにあたって具体的な内容ではない点
- ・ 実習生と指導薬剤師の到達点の違いが大きい場合の補正、複数受入れ時の到達点の違いへの対応など
- ・ 実習内容を具体的に示してもらえそうな内容の方が役立つと思う。
- ・ 実地に沿ったものをテーマに。
- ・ 実務として役立つ事をいれてほしかった
- ・ 実務に役に立つカリキュラムがもう少し欲しかった。
- ・ 実務実習との関連をもう少し明確に示して欲しかった。
- ・ 実務実習と国家試験が密接にリンクしていることをもっと認識するべき
- ・ 実務実習に活用できるように。
- ・ 実務実習に具体的に使える方法まで踏み込んでほしかったが余裕の時間がなかった
- ・ 実務実習に即した内容にすべきでは
- ・ 実務実習に即した内容に変更する
- ・ 実務実習に即利用できる内容も取り入れてほしい
- ・ 実務実習に役立つような具体的な内容を取り入れてほしかった。
- ・ 実務実習に役立つような具体的な内容を取り入れてほしかった。
- ・ 実務実習のすぐ活用できるテーマ多く取り扱ってほしい
- ・ 実務実習のための準備もう少し細かい準備が必要
- ・ 実務実習の指導内容とワークショップの内容が合っていないと思う。もっと具体的な内容が必要だし期間も短すぎる。
- ・ 実務実習はスタートしてしまっている。自分が行っている実務実習指導はこれで良いのか、この指導で学生は国家試験をパスできるのか、常に不安がつきまとう。さらに現場をまわしながら指導しなくてはならない。現場で即実践できる指導方法を教えてほしい。適正に評価できているかも心許ない。具体的に評価方法を教えてほしい。
- ・ 実務実習を実施するにあたり、薬局間格差を少なくするための研修が必要と思う。
- ・ 実務実習後のWSがあるともっと理解できたのでは
- ・ 若い人がもっと参加できる環境を。参加人数が限られ、実際参加したくとも希望がかなわないことあり。
- ・ 受ければ、認定してもらえするというシステムの変更。態度、理解に対して試験を
- ・ 受け入れ前のワークショップは現行どおりで良いと思いますが、受け入れ後に再度研修が必要かと思えます。実際に受け入れた後で悩みや疑問点が明らかになり研修を受ける意義もはっきりすると思えます。
- ・ 充実していましたが、大変疲れました。
- ・ 宿題なくす
- ・ 宿泊しての活動は必要だったでしょうか。
- ・ 宿泊でのワークショップならば同じ会場でできるほうがよい。(移動が荷物が多かったりして大変だった)
- ・ 初めから自費にするべきだった。WSに参加して、認定を受けない。実務実習を拒否などの問題。
- ・ 初めて参加する人間にはタイムスケジュールがタイトすぎると思う。
- ・ 初めのころでしたので、仕方がないかも知れませんが、タスクの方の能力向上
- ・ 初期の頃で私も分からないままだったので、全てが学ぶ新鮮さがなかったです。
- ・ 初日の懇親会はなしか、もっと簡素で良いと思う。
- ・ 初日最初の自己紹介の部分まで、教官らの権威主義的な態度が鼻に付きました。
- ・ 初日最初の雰囲気。タイトなスケジュール
- ・ 所要時間
- ・ 小さい薬局でもできる 現実味おびた方向性の方がよかった。
- ・ ドラックと調剤専門では重点を置くところが違っていた。
- ・ 少しスピードが早く考え込んでいると於いて行かれそうになり大変だった。もう少しゆとりがほしかった。
- ・ 少し漠然としていて、研修を受けた後でも、指導薬剤師として具体的にどうしたらいいのか、わからなかったです。
- ・ 正解を求めすぎない。
- ・ 正直、何を勉強したのか覚えていません(記憶に残る内容ではなかった)
- ・ 説明を受ける時最後に資料を渡すのではなく最初に資料がほしかった。
- ・ 専門用語 横文字 略語が多い
- ・ 専門用語が多すぎ。詰め込みすぎ。結局、記憶にほとんど残っておりません。
- ・ 全ての人が同じ課題に取り組むのではなく、各自が抱えている問題点を分類してグルーピングする。
- ・ 全体的には理解できるが、学生のカリキュラムが詳細な上に更に詳細な計画を立てて教えていくことは難しい。計画を立てる上で具体的に役立てられるものだと良かった。
- ・ 全体的に実用的なものがよかった
- ・ 早くに実習前にワークショップに参加しているので、実習をしている時には内容を忘れてしまっている
- ・ 多少強引な意見形成はいかがかと思う
- ・ 体力勝負といったところで、長丁場なのがつらい
- ・ 大学(現場)で授業を教えている教師達の参加が少ない(お互い、学生との関わり方に理解度が不足している)
- ・ 大学による『差』を改善してほしい。
- ・ 大学は、学生を信じていない、というのが印象的でした。学生を自立した大人として扱う計画を立てられますように。
- ・ 大学主導なのはよくわかるが 実習受け入れ側の立場での評価なのでもっとわかりやすいものにしてほしい。
- ・ 短い時間の中で学ぶ内容が多すぎる。
- ・ 短時間で色々な知識を詰めこんだ気がします。時間的にゆとりがほしかったです。
- ・ 短時間に内容を詰め込みすぎ、時間が足りない。事前に予習などの学習が必要。
- ・ 遅刻者への対応(遅刻者に対し、まったく触れずにそのまま参加させていた点。
- ・ 中間報告書をなくす
- ・ 抽象的な議題も多かったので結論まで行かないこともあった。
- ・ 昼食時間がもう少しほしい。
- ・ 調剤薬局勤務薬剤師と病院勤務薬剤師とでは持っている知識・経験が異なるので、その配慮あったら良いのでは
- ・ 長時間の拘束
- ・ 当時は教育学の授業みたいで少々無理があったと思う
- ・ 統一見解で指導してほしかった。熱心すぎ議論していました。
- ・ 討論の時間が短すぎる。もう少し余裕がほしい。
- ・ 討論ばかりに2日間費やすのはもったいない。カリキュラム作成方法にあれだけの時間を費やす必要があるとは思えない。
- ・ 導入はあまりにもシークレットで疲労感さえ感じました。目的をもう少しはっきりさせても良いのでは？
- ・ 特になし。タスクフォースの皆様のご協力のおかげで、SGD など内容に集中することが出来た。
- ・ 特に実務実習を指導しない薬剤師などにおける、意識や学習効果の維持・向上。
- ・ 特殊な用語を使うので事前に何かやることなどわかっていると参加しやすい
- ・ 内容が詰め込みすぎて消化不良で終わったので、今後は時間をもう少しかけてゆっくり行ってほしい。
- ・ 内容が高度すぎて実習に活かすまで至らない点が多い。難易度を下げなければごく一部の人間にしか活用できないと思う。
- ・ 内容が濃いので講義についていくのが精いっぱいでした。時間に追われてしまうのももう少し考えを整理する時間があればいいと思います。